

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野子ども力発動プロジェクト事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成25年度
	施策	1	地域ぐるみの教育活動の推進				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	下野市子ども未来プロジェクトの推進					目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5881		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		子どもたちが主体的に協議・交流し、子どもたち自身の手で、子どもたちのためになる運動を展開することにより、主体的に関わり、発信し、行動できる子を育てる。「いじめをしない・させない・見逃さない」など、正しい判断のできる子を育てる。下野市の3中学校及び1義務教育学校の生徒会を中心として、子どもたち自身により「学校生活をよりよくするために心がけること」を考えて決定し、市内すべての児童生徒や地域、保護者へ周知を行い、いじめ撲滅や環境問題に関する内容も盛り込み、意識付けや実践化を図る。									
事業概要		年2回の生徒会交流会を実施し、各校独自の活動と共通の活動を計画・実施する。また各中学校区の児童生徒交流会を実施し、地域の子どもたちが一体となった活動を計画・実践する。内容としては、いじめ撲滅運動、校内外でのあいさつ運動、地域清掃活動や募金活動などのボランティア活動、学校生活でのエコ活動等を実践する。12月の「こども未来プロジェクト発表会」において、一年間の活動の報告を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、国体協力推進	生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、国体協力推進	生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、いじめ防止活動推進	生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、いじめ防止活動推進	生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、いじめ防止活動推進	生徒会交流会、児童生徒交流会(小中一貫の活動計画)、クリアファイル配布、エコプロジェクト推進、いじめ防止活動推進				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	503	503	763	763	763					
	予算現額	383	363	760							
	決算額	363	353								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	383	363	760	763	763					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	活動時間及び場所の確保、活動の形態の更なる向上									
	B) Aにおける対応策	生徒交流会の日程を調整し、放課後短時間でを行う。その他、協議、情報共有が必要な際には、Web会議システムを用いて行う。									
	C) 新たな課題等	代表者の話し合いを市内全児童生徒へ共有することの難しさ。担当の教員をはじめ、関わる教職員及び児童生徒の業務量の負担の増大。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成29年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2-1号線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成23年度
	施策	1	地域ぐるみの教育活動の推進				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業	通学路安全対策の推進					目	2	道路橋梁新設改良費	関係法令等	
重点事業区分	3 暮らしいきいきプロジェクト				経費区分	投資的経費 4935		道路法			
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的		隣接する宇都宮市の土地改良事業が完了し、接続する県道整備も開始したことに伴い、交通量の増加が見込まれることから、幅員狭小で入り組んでいる道路の拡幅改良及び歩道整備を進め、通学する児童の安全確保を図る。 【上古山地内、県道鹿沼下野線北進】									
事業概要		事業期間 H23～R6 社会資本整備総合交付金事業 整備延長 L=700m、整備幅員 W=10.0m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		用地・補償	用地・補償 水路改修工事	道路拡幅改良工事	道路拡幅改良工事 工事費82,500千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	10,068	40,000	98,175	82,500	0					
	予算現額	30,858	20,051	56,750							
	決算額	11,884	6,864								
財源	国県支出金	16,500	2,200	10,000	38,000	0					
	地方債・その他	12,100	17,600	46,000	34,200	0					
	一般財源	2,258	251	750	10,300	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値		用地取得	58%	用地取得	用地取得道路改良工事	100%					
目標達成率		34%		47%	54%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和6年度の事業完了に向けて、土地改良区や警察署などの関係機関との調整が必要である。									
	B) Aにおける対応策	関係機関と適切に協議を進めている。									
	C) 新たな課題等	特になし									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2-10号線整備事業			部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ		
					課名	建設課					
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり			款	8	土木費		事業開始年度	平成24年度
	施策	1	地域ぐるみの教育活動の推進			項	2	道路橋梁費		事業終了年度	令和9年度
	主な事業	通学路安全対策の推進				目	2	道路橋梁新設改良費		関係法令等	
重点事業区分	3 暮らしいきいきプロジェクト			経費区分	投資的経費		4959	道路法			
事業の種類	ハード事業	類型区分	I		補助団体						
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的	まちづくり交付金事業下長田地区の延伸で、姿川西地区の道路網強化を図るとともに、細谷小学校へ通学する児童の安全を守るため整備を行う。【上台・細谷・橋本地内 細谷小学校東側道路】										
事業概要	社会資本整備総合交付金事業 防・安 とちぎの安全・安心を確保する強くしなやかな道路 下野市通学路交通安全プログラム対策路線 ・第1工区(細谷地区 L=680m W=8.5m) 事業期間 H24～R1 ・第2工区(細谷・橋本地区 L=920m W=8.5m) 事業期間 R1～R8 ・第3工区(橋本地区 L=780m W=8.5m) 事業期間 R6～R9										
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
	土地改良区協議			土地評価(第2工区) 詳細設計(第2工区) 地質調査(第2工区) 水路改修設計(第2工区)		補償算定(第2工区) 不動産鑑定(第2工区)		用地補償(第2工区) 土地購入費 補償費 時点修正			
◎事業費											
(単位:千円)	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
事業費	計画額	8,000	40,100	9,878	10,800	26,100					
	予算現額	3,750	15,800	9,878							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	1,375	0	0	0	13,200					
	地方債・その他	1,000	15,000	9,000	0	11,500					
	一般財源	1,375	800	878	10,800	1,400					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称	事業費における進捗率(第1工区～第2工区)					指標の計算式等					
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費					
実績値	道路改良工事11,715千円	50%	流末調査3,355千円	—	75%						
目標達成率	52%	50%	52%	52%	75%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	土地改良区との排水協議が必要である。									
	B) Aにおける対応策	調整池の検討を行い、土地改良区との排水協議を完了させる。									
	C) 新たな課題等	整備エリアに壬生町の用地買収が絡むため、壬生町との協議調整を要する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2-29号線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名 一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和元年度
	施策	1	地域ぐるみの教育活動の推進				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業	通学路安全対策の推進					目	2	道路橋梁新設改良費	関係法令等	
重点事業区分	3 暮らしいきいきプロジェクト				経費区分	投資的経費 14327		道路法			
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的		<p>小金井駅東口広場から国分寺東小学校に通じる幹線道路であり、通学路として指定されている。しかしながら、(一)小山下野線から東小学校までの道路は、マウントアップ形式の歩道であり、違法な個人宅への乗入設備の設置や、太く成長した街路樹が歩行者・自転車の通行の障害となっている。</p> <p>街路樹については、伐採をおこなったが、根が残っている状態であるため、根が枯れて舗装が沈下する危険性がある。歩道をセミフラット形式へ変更することを目的として、一体的な整備を行うことで自転車歩行者の安全性向上を図る。</p>									
事業概要		事業期間 R3~R6 整備延長 700m 幅員12.0m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		測量・設計業務		道路改良工事 L=380m 照明設備工事 L=700m	道路改良工事 L=320m						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,000	87,500	101,640	88,000	0					
	予算現額	5,642	60,500	18,182							
	決算額	9,548	891								
財源	国県支出金	1,375	23,099	10,000	44,000	0					
	地方債・その他	1,000	37,000	7,300	32,400	0					
	一般財源	3,267	401	882	11,600	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値			6%	路線測量・詳細設計L=700m	—	100%					
目標達成率			6%	3%	3%	100%					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	住宅街での施工となるため、沿線隣接者との調整を行い施工する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	工事発注業者と隣接者と適切な調整を行い工事を進める。									
	C) 新たな課題等	国分寺東小学校の出入口付近の施工となるため、学童の安全を図りながら施工を進める必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A					必要性	A				
有効性	A					有効性	A				
効率性	B					効率性	B				
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		非核平和推進事業				部名	総務部		グループ名	総務グループ	
						課名	総務人事課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業	道徳教育の推進					目	1	一般管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 322		非核平和都市宣言		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		非核平和都市宣言事業及び平和学習活動の一環として、中学生を被爆地である広島市に派遣し、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを体験することにより、次世代を担う人材を育成する。また、事前研修・体験発表報告を通じ、平和について再認識するとともに、各中学校において、派遣で感じた平和の大切さ等を他の生徒に伝えることにより、将来を担う人づくりに資することを目的とする。									
事業概要		中学生平和研修派遣事業 ・派遣団：11名（校長1名、市内4校の2年生男女各1名、教諭1名、総務人事課職員各1名） ・派遣期間 8月5日～7日 ・派遣先等 広島市（原爆ドーム、平和記念公園、資料館）、被爆体験者講話、千羽鶴奉納 など 平和推進活動 ・原爆パネル展、懸垂幕の掲示、小金井空襲記憶継承（教育委員会共同）									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・広島市派遣 ・庁舎1階フロアでのパネル展 ・懸垂幕の掲示	・広島市派遣 ・庁舎1階フロアでのパネル展 ・懸垂幕の掲示	・広島市派遣 ・庁舎1階フロアでのパネル展 ・懸垂幕の掲示 ・小金井空襲記憶継承事業（講演会等）	・広島市派遣 ・庁舎1階フロアでのパネル展 ・懸垂幕の掲示 ・小金井空襲記憶継承事業（講演会等）	・広島市派遣 ・庁舎1階フロアでのパネル展 ・懸垂幕の掲示 ・小金井空襲記憶継承事業（講演会等）					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,384	1,384	1,367	1,655	1,655					
	予算現額	1,454	1,367	2,958							
	決算額	72	40								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,454	1,367	2,958	1,655	1,655					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	前年度、派遣する中学生が確定後派遣事業を中止した場合で、翌年度参加希望した場合の対応									
	B) Aにおける対応策	選考して派遣する中学生が確定した状態で市や生徒の責めに帰すべき事由でない理由で中止とした場合には、次年度に限り追加派遣を行うこととした。									
	C) 新たな課題等	中学生海外派遣と同時申込をしている中学生への対応。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育委員会運営事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	1	教育委員会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 5658		地方教育行政の組織及び運営に関する法律、下野市教育委員会会議規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		教育委員会の円滑な運営を図るための経費									
事業概要		教育委員会は合議制の執行機関であり、教育長及び教育委員4名により教育委員会会議を開催する。 ・教育委員会会議の開催や総合教育会議の開催 ・教育委員の各種研修会、学校訪問、教育福祉常任委員との懇談会等の出席 ・下都賀地区市町教育委員会連合会負担金などの各種研修負担金									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		合計 2,298千円 報酬 1,728千円 旅費 170千円 需用費 98千円 負担金 302千円	合計 2,278千円 報酬 1,728千円 旅費 166千円 需用費 83千円 負担金 301千円	合計 2,277千円 報酬 1,728千円 旅費 170千円 需用費 77千円 負担金 302千円	合計 2,280千円 報酬 1,728千円 旅費 172千円 需用費 78千円 負担金 302千円	合計 2,280千円 報酬 1,728千円 旅費 172千円 需用費 78千円 負担金 302千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	2,298		2,269		2,277		2,280		2,280	
	予算現額	2,278		2,193		2,280					
	決算額	1,885		1,967							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	2,278		2,193		2,280		2,280		2,280	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値			0				0				
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	特になし									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育総務運営事業			部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ		
					課名	教育総務課					
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり			款	10	教育費		事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実			項	1	教育総務費		事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実				目	2	事務局費		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費		5675		地方教育行政の組織及び運営に関する法律、下野市児童表彰条例、下野市児童表彰条例施行規則、下野市教育委員会	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II	補助団体						
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		<ul style="list-style-type: none"> 児童表彰：児童の優れたところを見出して表彰し、自信と誇りを持たせ、健全な心身の発達を助長することを目的とする。 教育のつどい：表彰及び講演会等により市の教育、文化、スポーツの振興を図ることを目的とする。 教育委員会点検評価：地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、権限に属する事務等の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表する。 									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 児童表彰：「下野市児童表彰条例」に基づき、市内小学校及び義務教育学校等の6年生を対象に、市長からメダルと賞状の授与を行う。 教育の集い：市の教育、文化、スポーツの振興発展に貢献し、功績等があった個人及び団体を表彰するとともに、振興に資するための講演会等を行う。 教育委員会点検評価：教育委員会の事務事業について外部評価委員会による点検評価を行い評価報告書を作成する。 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		報酬等 1,576千円 旅費 171千円 交際費 120千円 需用費等 279千円 負担金 110千円	報酬等 1,566千円 旅費 147千円 交際費 80千円 需用費等 354千円 負担金 108千円	報酬等 1,696千円 旅費 171千円 交際費 80千円 需用費等 353千円 負担金 110千円	報酬等 1,757千円 旅費 171千円 交際費 80千円 需用費等 365千円 負担金 112千円	報酬等 1,757千円 旅費 171千円 交際費 80千円 需用費等 365千円 負担金 112千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	2,256		2,255		2,410		2,485		2,485	
	予算現額	2,255		2,360		2,354					
	決算額	1,637		2,070							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	2,255		2,360		2,354		2,485		2,485	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値			0					0			
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	特になし									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育総務運営事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		5706		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設等借入金の償還を行う。									
事業概要		関連公共施設整備資金借入償還金 令和4年度末残高 計 3,185,863円(南河内第二中)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		合計 1,589千円 第二中 1,589千円	合計 1,591千円 第二中 1,591千円	合計 1,593千円 第二中 1,593千円	合計 1,594千円 第二中 1,594千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	1,589		1,591		1,593		1,594		0	
	予算現額	1,590		1,591		1,593					
	決算額	1,590		1,591							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	1,590		1,591		1,593		1,594		0	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0									
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	特になし									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校教育運営事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5759	学校教育法第5条、学校保健安全法第13条、学校保健安全法第15条、中学校等部活動補助金交付要綱、中学校等部活動	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		<p>児童生徒、教職員の検診（健康診断、メンタルヘルスチェック）の実施、学校医等の配置を実施することにより健康で安全な学校生活を送れるよう支援するとともに、各種負担金、補助金等により教育活動を支援する。各種事業（臨海自然教室、学校音楽祭等）に必要な民間バスを借り上げる。学級数の増加に対応し、教師用教科書不足分等を購入する。</p> <p>南河内小中学校スクールバスを運行する。部活動の地域移行を実施する。外国籍児童に対する支援を行う。</p>									
事業概要		<p>学校教育運営を円滑に進めるため予算を確保し、各種事業を展開していく。各校に、児童生徒、教職員の健康増進等を図るため、学校医等を配置する。臨海自然教室や音楽発表会での民間バスを借り上げるとともに、部活動や各種部会、研究会には補助等を行う。また、学校管理下における災害に対応するため共済制度に加入する。可動式階段昇降機の維持管理を実施する。いじめ問題に対して専門的な対応を実施するため「いじめ問題対策連絡協議会」「いじめ問題専門委員会」を設置する。南河内小中学校スクールバスを運行する。部活動の地域移行を推進する。外国籍児童の日本語指導を行う。</p>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		学校医検診、教職員健診、メンタルヘルスチェック、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金・負担金、可動式階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等	学校医検診、教職員健診、メンタルヘルスチェック、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金・負担金、可動式階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等、スクールバス運行	学校医検診、教職員健診、メンタルヘルスチェック、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金・負担金、可動式階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等、スクールバス運行	学校健診、メンタルヘルス、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金等、階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等、スクールバス運行、部活動地域移行、日本語指導	学校健診、メンタルヘルス、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金等、階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等、スクールバス運行、部活動地域移行、日本語指導	学校健診、メンタルヘルス、スポーツ振興センター掛金、バス借上げ、補助金等、階段昇降機、いじめ問題対策連絡協議会等、スクールバス運行、部活動地域移行、日本語指導				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	45,095	91,881	94,647	100,212	104,622					
	予算現額	47,147	90,192	96,046							
	決算額	65,736	117,027								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	2,248	2,049	2,044	0	0					
	一般財源	44,899	88,143	94,002	100,212	104,622					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	円滑な学校教育運営を行うために、学校現場の状況を常に把握する必要がある。									
	B) A)における対応策	学校との連絡を密にし、学校課題の解決を図る。									
	C) 新たな課題等	部活動の地域移行に向けた準備を進める必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定						市長判定					
必要性	A					必要性	A				
有効性	B					有効性	B				
効率性	A					効率性	A				
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育環境管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5784		学校保健安全法、下野市安全安心なまちづくり条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校や保護者、地域住民が連携し、校外における子どもたちの安全を確保し、安心して学習できる環境を整備するためスクールガード事業を支援する。また、行政の枠を超えた「下野市通学路安全推進会議」を開催し、学校からの要望に基づく整備を推進する。 実験で使用した薬品の廃棄を行い、環境の保全に努める。									
事業概要		スクールガード事業（新1年生のホイッスル購入・スクールガードボランティアの保険加入） 青色パトロール講習会及び巡回パトロールの実施 学校設置消火器の更新（使用期限が過ぎている消火器） 理科実験使用済みの薬品廃棄									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		報償費 200千円 需用費 167千円 手数料 2,463千円 保険料 208千円 使用料 308千円 備品購入1,256千円	報償費 200千円 需用費 168千円 手数料 2,676千円 保険料 208千円 使用料 285千円 備品購入 797千円	報償費 200千円 需用費 157千円 手数料 2,648千円 保険料 208千円 使用料 249千円 備品購入5,252千円	報償費 200千円 需用費 181千円 手数料 2,710千円 保険料 155千円 使用料 228千円 備品購入 562千円	報償費 200千円 需用費 181千円 手数料 2,710千円 保険料 155千円 使用料 228千円 備品購入 562千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	4,602		4,334		8,714		4,036		4,036	
	予算現額	4,076		7,613		3,922					
	決算額	3,354		6,959							
財源	国県支出金	141		141		141		133		133	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,935		7,472		3,781		3,903		3,903	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0	0	0	0	0					
目標達成率		0		0	0						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	児童生徒への防犯の周知									
	B) Aにおける対応策	学校を通してお知らせする。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	<input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和元年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校適正配置推進事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成24年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校適正配置の推進					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5804		学校教育法通学区域制度の弾力的運用について(通知) : 文部科学省		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		下野市の学校教育をより質の高い教育環境に引き上げていくため、また児童生徒により良い教育環境を提供するため、学校や地域と連携しながら学校の適正配置に向けた事業を進める。									
事業概要		小規模特認校である細谷小学校の令和7年度中間評価に向けた準備を行う。その他、学校の適正規模、適正配置について必要な検討を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		細谷小学校の検証に基づく事業の推進。	細谷小学校の検証に基づく事業の推進	細谷小学校の検証に基づく事業の推進等	細谷小学校の検証に基づく事業の推進等	細谷小学校の検証に基づく事業の推進等	細谷小学校の検証に基づく事業の推進等(中間報告)				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	364	244	345	290	345					
	予算現額	244	345	290							
	決算額	70	247								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	244	345	290	290	345					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0			0					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	下野市全体を通して、学校適正配置を検討する。									
	B) Aにおける対応策	学校適正配置基本計画の終了年度(令和5年度)に計画の達成状況の検証及び今後10年間の人口推計等に基づく課題の洗い出しにより市全体の適正配置の検討を行う。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		奨学金貸付事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成21年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	奨学金の貸付と制度の充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5811	下野市奨学金貸付条例、下野市奨学金貸付条例施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		経済的理由により修学困難な学生・生徒に対し、無利子で奨学金の貸付けを行うことにより有能な人材を育成し、下野市の教育を進展させることを目的とする。									
事業概要		無利子の奨学金貸付を実施し、高校・大学生等の学資に係る経済的支援を行う。 R1年度 大学生7名、高校生1名 R2年度 大学生10名、高校生1名 R3年度 大学生9名 R4年度 大学生10名、高校生1名 R5年度 大学生11名 緊急在学奨学生：貸付年度途中の家計急変などによる在学生の奨学支援を行う。 H28年度から奨学金の増額や選択制の導入、入学一時金の制度を創設した。 R5年度から定住促進策として償還額の一部免除制度を創設した。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		合計	22,860千円	合計	18,340千円	合計	24,950千円	合計	27,600千円	合計	31,300千円
		新規	9,420千円	新規	7,060千円	既存	14,040千円	既存	17,660千円	既存	21,360千円
		緊急	720千円	緊急	600千円	現年	9,380千円	現年	9,940千円	現年	9,940千円
		R2分	5,520千円	R3分	4,440千円						
		R1以前	7,200千円	R2以前	6,240千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	22,860		18,340		24,720		27,600		31,300	
	予算現額	20,180		20,700		24,950					
	決算額	16,640		18,570							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	4,512		7,248		9,600		9,056		10,773	
	一般財源	15,668		13,452		15,350		18,544		20,527	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0			0					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	返還の延滞がないようにする。									
	B) Aにおける対応策	督促状の発送による適正な償還意識の啓発及び債権管理。 経済的理由により計画どおりの償還が困難な場合に償還延長等の相談に対応できるようにしている。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成27年度、令和5年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		児童生徒就学援助費事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	奨学金の貸付と制度の充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 5816		就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律、下野市就学援助費交付規則、下野市特別		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		経済的な理由により就学困難と認定した児童生徒の保護者に対して、就学費の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対して、特別支援教育就学奨励費の支給を行う。									
事業概要		学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、新入学学用品費、入学準備金、医療費の一部を援助。入学準備金制度導入（平成29年度より） 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対して、特別支援教育就学奨励費の支給を行う。 要保護、準要保護児童生徒就学援助費の認定予定者は265人（小学校169人、中学校96人）。 特別支援教育就学奨励費の認定予定者は150人（小学校95人、中学校55人）。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	認定した者に就学費の一部を支給する。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に奨励費の支給を行う。		認定した者に就学費の一部を支給する。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に奨励費の支給を行う。		認定した者に就学費の一部を支給する。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に奨励費の支給を行う。		認定した者に就学費の一部を支給する。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に奨励費の支給を行う。		認定した者に就学費の一部を支給する。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に奨励費の支給を行う。		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	33,206		33,206		31,741		29,748		29,748	
	予算現額	32,151		28,721		29,094					
	決算額	27,581		28,615							
財源	国県支出金	1,629		2,377		2,961		800		800	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	30,522		26,344		26,133		28,948		28,948	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	就学事務システムの効率的な運用及び確実な支給を行う。									
	B) A)における対応策	積極的に就学事務システムを活用し、ダブルチェックで支給事務を行う。									
	C) 新たな課題等	システム標準化による移行作業。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		スクールアシスタント配置事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5821		下野市スクールアシスタント設置規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		児童生徒一人一人を大切にしたいきめ細やかな指導と効果的な授業を推進するため、学級支援指導助手、学校生活支援員(介助、図書)を学校の実情に応じて配置する。また、情報教育アドバイザーが学校巡回を行うことにより情報教育を支援する。									
事業概要		市立学校にスクールアシスタントを配置する。学校生活支援員(介助)は29名任用し、各校の個別支援を必要とする児童生徒数に応じて、配置する。学校生活支援員(図書)は13名任用し、各校に配置する。学級支援指導助手(複式学級対応)は2名任用し、複式学級に配置する。情報教育アドバイザーを2名任用し、ICT教育の補助、情報教育の支援を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		スクールアシスタント(介助29名、図書15名、情報教育アドバイザー1名、学級支援助手2名、外国語助手3名 計50名)	スクールアシスタント(介助29名、図書13名、情報教育アドバイザー2名、学級支援助手2名 計46名)	スクールアシスタント(介助29名、図書13名、情報教育アドバイザー2名、学級支援助手2名 計46名)	スクールアシスタント(介助29名、図書13名、情報教育アドバイザー2名、学級支援助手2名 計46名)	スクールアシスタント(介助29名、図書13名、情報教育アドバイザー2名、学級支援助手2名 計46名)	スクールアシスタント(介助29名、図書13名、情報教育アドバイザー2名、学級支援助手2名 計46名)				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	69,467	77,922	78,288	78,663	78,663					
	予算現額	77,653	77,888	78,703							
	決算額	74,009	73,465								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	77,653	77,888	78,703	78,663	78,663					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	継続的な人事評価及び研修の実施を行う必要がある。									
	B) Aにおける対応策	人事評価及び研修の実施									
	C) 新たな課題等	職員の能力向上									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		幼稚園・保育園・小学校連携事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成22年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	事務局費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5830		教育基本法教育振興計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市の子育て事業の一環として、市内の幼稚園・保育園・認定こども園及び小学校、義務教育学校間の連携を図り、子育て支援ではない、幼小の繋がりのある教育の支援を行う。連携を通して、小1プロブレムや学校不適応を未然に防げるよう、教諭と保育士との懇談会、研修会を開催する。									
事業概要		幼稚園・保育園・認定こども園・小学校、義務教育学校の連携を通して、小学校・義務教育学校1年生へスムーズに移行できるように、教職員の研修会や園児の小学校・義務教育学校見学、教育に関するイベントや交流会、子どもの実態等の情報交換会などの事業を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		会議の開催：3回、イベントの開催、子育て支援に伴うチラシ等作成、研修の開催：2回、園児の小学校体験	会議の開催：3回、イベントの開催、子育て支援に伴うチラシ等作成、研修の開催：2回、園児の小学校体験	会議の開催：1回、研修の開催：2回、園児の小・義務教育学校体験	会議の開催：1回、研修の開催：2回、園児の小・義務教育学校体験	会議の開催：1回、研修の開催：2回、園児の小・義務教育学校体験					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	50	50	36	36	36					
	予算現額	50	36	35							
	決算額	12	31								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	50	36	35	36	36					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	園と小学校のカリキュラムの共有									
	B) Aにおける対応策	連絡協議会の機会を生かして幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の情報交換を図る。									
	C) 新たな課題等	幼児教育と小学校の接続の改善について理解を深めていく必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育研究振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5865		下野市教育研究所設置条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		教育に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行い、下野市の教育行政の推進・振興を図る。学習指導の工夫、改善等について調査研究したり、教職員の研修を実施したりすることで、教職員の資質の向上を図り本市の教育水準向上を目指す。									
事業概要		教職員全体研修会を年3回(4月、8月、1月)開催する。また、小中一貫教育研究事業や学習指導主任研修会等を開催する。 小学校・義務教育学校3、4年生が使用する社会科副読本の情報収集と改訂(3か年毎)を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業による分析、社会科副読本改訂、「新聞の日」実施	市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業(学力向上・情報教育・小中連携等)による分析、道徳地域教材作成、「新聞の日」実施	市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業(学力向上・情報教育・小中連携等)による分析、道徳地域教材作成、「新聞の日」実施	市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業(学力向上・情報教育・体力向上等)による分析、道徳地域教材作成、「新聞の日」実施、ふるさと学習の実施	市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業(学力向上・情報教育・体力向上等)による分析、道徳地域教材作成、「新聞の日」実施、ふるさと学習の実施	市教職員全体研修会専門研修、希望研修の実施、調査研究事業(学力向上・情報教育・体力向上等)による分析、道徳地域教材作成、「新聞の日」実施、ふるさと学習の実施				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,768	4,120	2,720	2,671	2,671					
	予算現額	3,672	5,023	2,990							
	決算額	3,028	4,618								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	400	500	600	0	0					
	一般財源	3,272	4,523	2,390	2,671	2,671					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		学ぶ意欲と自己有用感の評価点(小・中・義務教育学校)					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	とちぎっ子学習状況調査による。13項目を4段階で評点化。最高値4.00				
実績値			3.25			3.25					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	更なる小中一貫教育の推進。									
	B) Aにおける対応策	プロジェクト研究員を任命し、調査研究を行った。									
	C) 新たな課題等	教育に関する研究調査を行い、教育行政の推進・振興を図る。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		エス・アンド・ユーコラボ事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成21年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5898		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		宇都宮大学と連携し、各校の学校課題推進や研修体制の充実に向けて専門講師を派遣することで、教員の授業力の向上、児童生徒の学力向上を図る。 実施校 小学校8校 中学校3校 義務教育学校1校 市内全学校で実施									
事業概要		宇都宮大学共同教育学部と連携し、各校の要請に応じて、大学の教授や准教授、または附属学校の教員を招聘し、校内研修の講師として指導助言を仰ぐ。中心は校内研修であるが、授業研究は広く公開し、中学校区や市内全校での研修の場とする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		宇都宮大学と連携し講師を派遣 小学校11校、中学校4校 15千円×42回、合計630千円	宇都宮大学と連携し講師を派遣 小学校8校、中学校3校 義務教育学校1校、15千円×36回、合計540千円	宇都宮大学と連携し講師を派遣 小学校8校、中学校3校 義務教育学校1校、15千円×36回、合計540千円	宇都宮大学と連携し講師を派遣 小学校8校、中学校3校 義務教育学校1校、15千円×36回、合計540千円	宇都宮大学と連携し講師を派遣 小学校8校、中学校3校 義務教育学校1校、15千円×36回、合計540千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	630	600	540	540	540					
	予算現額	600	540	525							
	決算額	467	468								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	600	540	525	540	540					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	各学校のニーズに合わせた講師選択。									
	B) Aにおける対応策	3月末に、講師の希望を確認。4月に再度、講師の希望を各学校に確認。									
	C) 新たな課題等	講師の異動があった場合に、再度連絡調整が必要になる。迅速な対応が必要になる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		児童生徒英語教育推進事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5903		学習指導要領(外国語活動・外国語)		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		・国際社会で活躍できる児童生徒の育成を目指し、児童生徒の英語力向上を図る。									
事業概要		・小中義務教育学校における外国語授業や外国語教材作成の補助として、外国語指導助手(ALT)を配置し、全校で毎時間支援できるよう整備する。 ・各種イベントや学校における教材の整備を行う。 ・教職員向けの英語力向上のための研修を充実させる。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教員向けの語学研修を充実させ、小学校教科化へ向けた指導力向上を図る。 ALT9名(派遣)、JTE3名	教員向けの語学研修を充実させ、小学校教科化に伴う指導力向上を図る。 ALT11名(派遣)	教員向けの語学研修を充実させ、小学校教科化に伴う指導力向上を図る。 ALT11名(派遣)	ALTとのティームティーチングや教職員向けの研修を充実させ、指導力の向上を図る。 ALT11名(派遣)	ALTとのティームティーチングや教職員向けの研修を充実させ、指導力の向上を図る。 ALT11名(派遣)					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	48,184	50,597	50,597	51,456	50,399					
	予算現額	42,887	50,431	50,815							
	決算額	41,410	50,167								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	42,887	50,431	50,815	51,456	50,399					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	適切な派遣業者を選定していくこと。									
	B) Aにおける対応策	ALTを適切に配置できるよう、派遣業者の選定方法を検討する。									
	C) 新たな課題等	適切な派遣業者を選定していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成30年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小中学校教科用図書選定事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	教育研究所費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5908		義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第十三条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市内小・中・義務教育学校で使用する教科用図書について、市教科用図書選定委員会で協議して選定する。小中学校各教科用図書(約4年に1回)、小中特別支援学級用図書(毎年)を選定・答申する。									
事業概要		教科用図書選定委員会を年2回開催(内調査員報告1回)では委員7名を招聘する。 特別支援学級用教科用図書調査員会は2回〔調査員:計4名(中学校2名、小学校2名)〕 小中学校教科用図書採択の年は、小中学校教科用図書調査員会は3回〔調査員:22名(2名×11教科)〕									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		小中学校特別支援学級用教科書の選定の実施、教科用図書選定委員会・調査員会開催	小中学校特別支援学級用教科書の選定の実施、教科用図書選定委員会・調査員会開催	小学校教科用図書並びに小中学校特別支援学級用教科書の選定の実施、教科用図書選定委員会・調査員会開催	中学校教科用図書並びに小中学校特別支援学級用教科書の選定の実施、教科用図書選定委員会・調査員会開催	小中学校特別支援学級用教科書の選定の実施、教科用図書選定委員会・調査員会開催					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	76	87	124	130	130					
	予算現額	87	86	80							
	決算額	61	67								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	87	86	80	130	130					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	調査員の選定について。									
	B) Aにおける対応策	各学校の規模に応じて選定を行った。									
	C) 新たな課題等	調査員会の日程調整について。出張が多くなるため、委嘱を受けた教職員の負担が大きい。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		ユースサポート事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成21年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5919		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		小・中・義務教育学校、教育支援センターに大学生を受け入れ、補助的な授業支援を行う。効率的な授業運営や、教師がより指導の必要な児童生徒に向き合う時間の確保に役立てる。部活動支援では、経験を生かした指導がなされ技術の向上が図られる。									
事業概要		学生による学習支援（配慮を必要とする児童生徒への支援、補習）、生活支援（配慮を必要とする児童生徒の教室移動・給食指導・清掃指導等）、及び部活動支援（専門種目の指導の支援）を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学)	地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学)	地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学等)	地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学等)	地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学等)	地域の人的資源として、大学生による学校支援を継続して行う。(白鷗大学・宇都宮大学等)				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	500	500	500	500	500					
	予算現額	500	500	400							
	決算額	289	269								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	500	500	400	500	500					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	参加学生の確保。									
	B) Aにおける対応策	年度途中の受け入れの際の日程調整。									
	C) 新たな課題等	大学と関係学校との連絡調整を迅速に行うことが必要になる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		特別支援教育推進事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成24年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5924		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		教育支援委員会を開催し、個別支援を必要とする児童生徒に対して、適切な指導と必要な支援を行い特別支援教育の充実を図る。 相談員は、各学校を訪問し、児童生徒への支援内容を助言する。 第二次特別支援教育推進計画を基に、計画に沿った特別支援教育の推進を図る。									
事業概要		教育支援委員会を年3回開催し、教育支援委員14名により、教育措置等について協議する。 特別支援ネットワーク連絡協議会を年2回開催し、特別支援教育の推進を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		就学支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催	教育支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催	教育支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催	教育支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催	教育支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催	教育支援委員会 特別支援教育推進のための各種研修会等の開催				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	80	96	90	90	90					
	予算現額	90	90	60							
	決算額	82	81								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	90	90	60	90	90					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	特別支援教育ネットワーク連絡協議会の開催、学校への支援。									
	B) Aにおける対応策	特別支援教育ネットワーク連絡協議会を立ち上げ、他課との連携について協議する際に、現在あるものを生かし、個別の教育支援計画を作成しやすくすることを意識した。									
	C) 新たな課題等	幼小の頃から発達課題を抱えている人に対する、義務教育終了後に支援が必要になる場合がある。それに対する対応策が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校教育サポート事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成22年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5932		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校教育上で発生する諸問題（いじめ、不登校、特別な支援を要する等）の解決に向けて、電話・面接相談や学校巡回相談などを行い、関係諸機関との連携が密になるように支援したり、教育支援センターで集団生活への復帰を目指す。 コーディネーター、ケースワーカー、就学・特別支援教育相談員、心理士等の専門スタッフを配置する。また不登校対策の1つとして、夏季休業中の各中学校における学習支援「いきいき学び塾」を実施する。									
事業概要		コーディネーター、ケースワーカー、就学・特別支援教育相談員等の専門スタッフを配置し、学校教育で発生する様々な問題、就学や特別支援教育関係の相談を受けたり、学校生活への復帰支援や在籍校との連携、個別カウンセリング、教科指導、夏季休業中、各中学校において、学習支援事業を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		電話・面接・巡回相談 適応指導教室運営 夏季休業中における学習支援 (施設借用)	電話・面接・巡回相談 適応指導教室運営 夏季休業中における学習支援 (施設借用)	電話・面接・巡回相談 教育支援センター運営 夏季休業中における学習支援 (施設借用)	電話・面接・巡回相談 教育支援センター運営 夏季休業中における学習支援 (施設建設)	電話・面接・巡回相談 教育支援センター 夏季休業中における学習支援 相談件数増に対応した組織体制の構築 (新施設移行)					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	23,286	26,751	27,004	27,028	34,460					
	予算現額	24,621	27,004	26,441							
	決算額	23,919	25,845								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	24,621	27,004	26,441	27,028	34,460					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	サポートセンターへの相談数の増加への対応									
	B) Aにおける対応策	受付体制の効率化を図る									
	C) 新たな課題等	サポートセンターへの相談数の増加への対応									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小中一貫教育推進事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	小中一貫教育の推進					目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費		11046			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(イ)①							
2. 事業内容											
事業目的		下野市小中一貫教育推進協議会の協議内容を活かし、これまでの小中連携教育の取組を充実発展させ、円滑な小中一貫教育を推進する。									
事業概要		市全体の小中一貫教育について、保護者や地域代表、幼小中高の各代表等を委員とする小中一貫教育推進協議会を設置し幅広く意見を求めると共に学校運営協議会を運営し、小中一貫教育を始めとする学校教育に保護者や地域の方に参画いただく。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	下野市小中一貫・南河中学区小中一貫教育推進協議会開催、義務教育学校設立準備委員会(同作業部会)、義務教育学校基本計画による事業推進、コーディネート		下野市小中一貫教育推進協議会開催、コーディネーター配置		下野市小中一貫教育推進協議会開催		下野市小中一貫教育推進協議会開催		下野市小中一貫教育推進協議会開催		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	3,239		2,205		233		233		233	
	予算現額	3,349		2,311		209					
	決算額	2,482		1,997							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,349		2,311		209		233		233	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	小中連携教育の取組を充実発展させ、円滑な小中一貫教育を推進する。									
	B) Aにおける対応策	下小中一貫教育推進協議会での議論を進める。									
	C) 新たな課題等	小中連携教育の取組を充実発展させ、小中一貫教育を推進する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成29年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校給食共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5978		学校給食法 第4条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市内小学校の学校給食の維持管理を図り、安全で安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		調理業務を民間業者に委託する。 (祇園小・緑小・古山小・石橋北小・石小) 調理室細菌検査年1回、調理員検便検査月2回、ノロ検査月1回(10~3月)を行う。 給食調理室の維持管理を行う。(防虫駆除・排気設備清掃) 会計年度任用職員(栄養士)を配置し、アレルギー対応等を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費 129,356千円 報酬 : 2,361千円 期末手当 : 318千円 旅費 : 167千円 需用費 : 4,606千円 役務費 : 424千円 委託料 121,480千円	事業費 95,232千円 報酬 : 2,404千円 期末手当 : 488千円 旅費 : 167千円 需用費 : 2,391千円 役務費 : 399千円 委託料 : 89,383千円	事業費 96,361千円 報酬 : 4,768千円 職員手当等 : 918千円 旅費 : 288千円 需用費 : 8,949千円 役務費 : 456千円 委託料 : 80,982千円	事業費 98,803千円 報酬 : 7,110千円 職員手当等 : 1,368千円 旅費 : 410千円 需用費 : 4,888千円 役務費 : 456千円 委託料 : 84,571千円	事業費 99,612千円 報酬 : 7,196千円 職員手当等 : 1,385千円 旅費 : 410千円 需用費 : 2,912千円 役務費 : 456千円 委託料 : 87,253千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	129,356		95,232		96,826		98,803		99,612	
	予算現額	134,539		105,472		96,361					
	決算額	132,292		93,325							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	134,539		105,472		96,361		98,803		99,612	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値		-	-	-	-	-	-	-			
目標達成率		-	-	-	-	-	-	-			
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	各学校の食器を早期に規格統一する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	計画的に食器の入替をし、少しずつ規格統一を進める。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校給食備品整備事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		5996	学校給食法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市内小学校の学校給食の維持管理を図り、安全で安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		給食備品の更新計画に基づき、備品更新を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費：9,748千円 備品購入費：9,748千円		事業費：4,474千円 備品購入費：4,474千円		事業費：4,404千円 備品購入費：4,404千円		事業費：3,765千円 備品購入費：3,765千円		事業費：4,635千円 備品購入費：4,635千円	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	9,748		4,474		4,404		3,765		4,635	
	予算現額	3,400		3,174		1,300					
	決算額	1,610		5,409							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,400		3,174		1,300		3,765		4,635	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値		-	-	-	-	-	-	-			
目標達成率		-	-	-	-	-	-	-			
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	故障による緊急的な機器の入替への迅速な対応が必要になってきている。									
	B) Aにおける対応策	学校と連携し、迅速な対応をこころがけた。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		祇園小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6019		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	350	350	280	280	280					
	予算現額	350	280	230							
	決算額	346	280								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	350	280	230	280	280					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		緑小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6023		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	260	260	260	260	260					
	予算現額	260	260	230							
	決算額	260	259								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	260	260	230	260	260					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6027				
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	330	300	300	300	300					
	予算現額	300	300	285							
	決算額	300	300								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	300	300	285	300	300					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		古山小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6031		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	323	340	360	360	360					
	予算現額	340	360	280							
	決算額	340	360								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	340	360	280	360	360					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		細谷小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6035				
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		消耗品等の購入を行い、学校給食の円滑化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	20	20	15	15	15					
	予算現額	20	15	10							
	決算額	20	15								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	20	15	10	15	15					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋北小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6039		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	110	108	113	113	113					
	予算現額	108	113	198							
	決算額	95	113								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	108	113	198	113	113					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6043		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		消耗品等の購入を行い、学校給食の円滑化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	50	50	50	50	50					
	予算現額	50	50	50							
	決算額	50	50								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	50	50	50	50	50					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺東小学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6051				
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		消耗品等の購入を行い、学校給食の円滑化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	18	11	18	18	18					
	予算現額	11	18	16							
	決算額	11	18								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	11	18	16	18	18					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校給食共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6056		学校給食法 第四条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市内中学校の学校給食の維持管理を図り、安全で安心な学校給食を生徒に提供する。									
事業概要		調理業務を民間業者に委託する。(南河内二中・石中) 調理室細菌検査年1回、調理員検便検査月2回、ノロ検査月1回(10~3月)を行う。 給食調理室の維持管理を行う。(防虫駆除・排気設備清掃) 栄養士(会計年度任用職員)を配置する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費：54,877千円 報酬：2,361千円 期末手当：318千円 旅費：167千円 需用費：1,837千円 役務費：247千円 委託料：49,947千円	事業費：49,444千円 報酬：2,361千円 期末手当：479千円 旅費：167千円 需用費：3,463千円 役務費：167千円 委託料：42,807千円	事業費：47,229千円 報酬：2,444千円 期末手当：467千円 旅費：167千円 需用費：1,776千円 役務費：167千円 委託料：42,208千円	事業費：56,281千円 報酬：2,425千円 期末手当：467千円 旅費：167千円 需用費：1,579千円 役務費：167千円 委託料：51,476千円	事業費：58,324千円 報酬：2,425千円 期末手当：467千円 旅費：167千円 需用費：2,192千円 役務費：167千円 委託料：52,906千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	54,877	49,444	47,229	56,281	58,324					
	予算現額	60,148	46,481	55,160							
	決算額	57,331	49,626								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	60,148	46,481	55,160	56,281	58,324					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		-	-	-	-	-					
目標達成率		-	-	-	-	-					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	各学校の食器を早期に規格統一する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	計画的に食器の入替をし、少しずつ規格統一を進める。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校給食備品整備事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費 6074		学校給食法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		市内中学校の学校給食の維持管理を図り、安全で安心な学校給食を生徒に提供する。									
事業概要		給食備品の更新計画に基づき、備品更新を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費：7,224千円 備品購入費：7,224千円		事業費：3,624千円 備品購入費：3,624千円		事業費：3,650千円 備品購入費：3,650千円		事業費：3,089千円 備品購入費：3,089千円		事業費：1,890千円 備品購入費：1,890千円	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	7,224		3,624		3,650		3,089		1,890	
	予算現額	3,124		2,524		1,314					
	決算額	2,035		2,524							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,124		2,524		1,314		3,089		1,890	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値		-	-	-	-	-	-	-			
目標達成率		-	-	-	-	-	-	-			
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	故障による緊急的な機器の入替への迅速な対応が必要になってきている。									
	B) Aにおける対応策	学校と連携し、迅速な対応をこころがけた。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内第二中学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6083		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を生徒に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	330	290	290	290	290					
	予算現額	290	290	250							
	決算額	290	223								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	290	290	250	290	290					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋中学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6087		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を生徒に提供する									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	350	350	350	350	350					
	予算現額	350	350	350							
	決算額	350	350								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	350	350	350	350	350					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺中学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6091		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		消耗品等の購入を行い、学校給食の円滑化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入	消耗品の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	77	75	168	168	168					
	予算現額	75	168	139							
	決算額	74	167								
財源	国庫支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	75	168	139	168	168					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校給食センター管理事業				部名	教育委員会		グループ名	国分寺学校給食センター	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6096		学校給食法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		国分寺小学校、国分寺東小学校、細谷小学校、国分寺中学校の4校の学校給食を実施する。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 調理・配送・配膳業務委託を実施する。食数 1,500食、うちアレルギー対応食 23食。 国分寺学校給食センターの運営を適正かつ円滑に行うため、運営委員会を開催する。 安全で安心な学校給食を提供するため、施設の各種保守点検、維持管理、清掃等の業務委託の実施、計画的な食器類の更新とともに、随時、設備の修繕を実施する。 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		実施給食数 小学校3校 1,042食 中学校1校 495食 合計 1,537食		実施給食数 小学校3校 1,014食 中学校1校 486食 合計 1,500食		実施給食数 小学校3校 1,014食 中学校1校 486食 合計 1,500食		実施給食数 小学校3校 1,000食 中学校1校 500食 合計 1,500食		実施給食数 小学校3校 1,000食 中学校1校 500食 合計 1,500食	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	102,801		108,505		114,900		124,128		126,778	
	予算現額	108,505		108,717		124,342					
	決算額	103,910		115,218							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	108,505		108,717		124,342		124,128		126,778	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業開始から20年近くが経過してきており、老朽化が進み、施設及び調理機器の修繕箇所が増加している。									
	B) Aにおける対応策	施設及び調理機器の調査・点検を実施し、優先順位をつけて修繕を行う。									
	C) 新たな課題等	管理コストを考慮し、修繕するか、入れ替えするか、迅速な対応が必要になってきている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校食育推進事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成22年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業				目		4	学校給食費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		6128	食育基本法11条(教育関係者等及び農林漁業者等の責務)	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		義務教育9年間における系統的な食育の授業実践を研究する。家庭、地域と関係機関が連携した食育と地産地消の推進を図るための方策を研究する。全ての児童生徒に同様の「食に関する指導」を進める。家庭への啓発、地域との連携を図り、食育を推進していくことで、健康に留意できる児童生徒を育てる。									
事業概要		市内すべての児童生徒に同様の食育実践を実施する。家庭、地域と関係機関と連携した食育の推進、地産地消を図るための方策を研究する。また、「下野市学校給食食物アレルギー対応委員会」の開催により、アレルギー対応マニュアルの見直しをする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、朝食レシピ募集」10周年記念、食育だよりの発行、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応	「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、食育だよりの発行、朝食の簡単料理レシピ募集、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応	「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、食育だよりの発行、朝食の簡単料理レシピ募集、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応	「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、外部講師による出前授業、食育だよりの発行、朝食の簡単料理レシピ募集、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応	「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、外部講師による出前授業、食育だよりの発行、朝食の簡単料理レシピ募集、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応	「朝食の摂取習慣の確立と質の向上の推進」の実施、外部講師による出前授業、食育だよりの発行、朝食の簡単料理レシピ募集、朝食アンケート実施、食物アレルギー対応				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	742	711	608	608	608					
	予算現額	711	708	591							
	決算額	582	452								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	711	708	591	608	608					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)の保険適応について、医療機関によって対応が異なる。									
	B) Aにおける対応策	医療機関との連携を図りながら情報を収集していく。									
	C) 新たな課題等	食物アレルギー対応が必要な児童生徒が急増しており、学校現場の負担が大きい。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6138		学校教育法第5条、学校教育法12条、下野市学校運営協議会規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校の共通経費、事業を一元化し効率化を図りつつ、学校運営を支援する。									
事業概要		平成30年度より各校に学校運営協議会制度を導入し、保護者や地域住民、校長等を委員として任命し、地域とともにある学校づくりを推進している。次年度の新入学児童に対する就学時健康診断を10月から実施するとともに、2月には入学通知を送付する。就学児童に対する各種健診を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	9,049	9,224	7,677	7,694	7,694					
	予算現額	9,457	7,677	7,751							
	決算額	8,529	7,274								
財源	国県支出金	255	230	260	230	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	9,202	7,447	7,491	7,464	7,694					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		祇園小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6597		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,502	2,168	2,074	2,074	2,074					
	予算現額	2,402	2,074	2,441							
	決算額	2,384	2,045								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,402	2,074	2,441	2,074	2,074					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		緑小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6612		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,321	2,020	1,950	1,950	1,950					
	予算現額	2,031	1,950	1,625							
	決算額	2,020	1,945								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,031	1,950	1,625	1,950	1,950					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6630		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,846	2,664	2,700	2,700	2,700					
	予算現額	2,664	2,700	2,505							
	決算額	2,664	2,700								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,664	2,700	2,505	2,700	2,700					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		古山小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6648		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,728	2,209	2,467	2,467	2,467					
	予算現額	2,209	2,467	2,154							
	決算額	2,207	2,467								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,209	2,467	2,154	2,467	2,467					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		細谷小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6666		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,012	905	880	880	880					
	予算現額	927	880	825							
	決算額	905	876								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	927	880	825	880	880					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋北小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6684		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,518	1,595	1,696	1,696	1,696					
	予算現額	1,608	1,696	1,288							
	決算額	1,595	1,501								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,608	1,696	1,288	1,696	1,696					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6702		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	3,674		3,479		3,579		3,579		3,579	
	予算現額	3,479		3,579		3,494					
	決算額	3,467		3,579							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,479		3,579		3,494		3,579		3,579	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺東小学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	教育振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6735		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,316	2,502	2,354	2,354	2,354					
	予算現額	2,502	2,354	1,793							
	決算額	2,493	2,349								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,502	2,354	1,793	2,354	2,354					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内第二中学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6959		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,448	5,712	4,502	4,502	4,502					
	予算現額	5,712	4,541	3,523							
	決算額	4,342	4,220								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	5,712	4,541	3,523	4,502	4,502					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋中学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6988		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,555	5,072	4,987	4,987	4,987					
	予算現額	5,076	4,999	5,351							
	決算額	5,132	5,378								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	5,076	4,999	5,351	4,987	4,987					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果					※市民評価実績						
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺中学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7015		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入費等	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,122	2,768	3,129	3,129	3,129					
	予算現額	2,768	3,129	2,850							
	決算額	2,961	3,287								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,768	3,129	2,850	3,129	3,129					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) A)における対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内第二中学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	教育振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7063		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,370	2,967	2,960	2,960	2,960					
	予算現額	2,967	2,971	2,808							
	決算額	2,933	2,945								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,967	2,971	2,808	2,960	2,960					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋中学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7081		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	4,424	4,704	4,846	4,846	4,846					
	予算現額	4,704	4,846	4,784							
	決算額	4,704	4,725								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,704	4,846	4,784	4,846	4,846					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺中学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	教育振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7096		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用	教材備品、図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,205	3,424	3,477	3,477	3,477					
	予算現額	3,435	3,477	3,218							
	決算額	3,405	3,473								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,435	3,477	3,218	3,477	3,477					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校教科書改訂事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成27年度
	施策	2	教育環境の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	教育振興費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 7119		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		中学校、義務教育学校後期課程で使用する教科用指導書、デジタル教科書、指導資料を整備する。									
事業概要		教科書の改訂等に伴う教科書・指導書等の整備を、改訂のスケジュールに合わせて実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		採択された教科書・指導書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	採択された教科書・指導書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	中学校で採択された教科書、指導書、デジタル教科書の購入 学級増分の教師用教科書、指導書の購入	中学校で採択された教科書、指導書、デジタル教科書の購入 学級増分の教師用教科書、指導書の購入	中学校で採択された教科書、指導書、デジタル教科書の購入 学級増分の教師用教科書、指導書の購入	中学校で採択された教科書、指導書、デジタル教科書の購入 学級増分の教師用教科書、指導書の購入				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	11,300	49	49	49	18,130					
	予算現額	14,933	19	36							
	決算額	14,680	17								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	14,933	19	36	49	18,130					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	デジタル教科書の整備費が高額であること。									
	B) A)における対応策	早期からの情報収集に努める。									
	C) 新たな課題等	一人一台端末整備に伴い、学習者用デジタル教科書の購入を検討する必要があるが、高額なため現実化が難しい。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校教科書改訂事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成29年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	教育振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		6760	学校教育法	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		小学校、義務教育学校前期課程で使用する令和6年度以降使用の小学校各教科教師用教科書及び指導書、デジタル教科書、指導資料を整備する。									
事業概要		教科書の改訂等に伴う教科書・指導書等の整備を、改訂のスケジュールに合わせて実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		採択された教師用教科書・指導書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	採択された教師用教科書・指導書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	採択された教師用教科書、指導書、デジタル教科書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	採択された教師用教科書、指導書、デジタル教科書の購入、学級増分の教師用教科書、指導書の購入	採択された教師用教科書、指導書の購入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,394	1,323	1,306	63,866	2,394					
	予算現額	1,323	649	178							
	決算額	1,306	648								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,323	649	178	63,866	2,394					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	デジタル教科書の整備費が高額であること。									
	B) Aにおける対応策	早期からの情報収集に努める。									
	C) 新たな課題等	一人一台端末が整備されたことによる学習者用デジタル教科書の購入の検討。かなりの高額になり、整備が難しい。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		理科教育設備整備事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成30年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5967	理科教育設備費等補助金要綱	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		理科教育並びに算数・数学教育に関する備品を計画的に整備・更新し、新学習指導要領等新しい教育に対応した環境を提供し、理科教育並びに算数・数学教育の充実を図る。									
事業概要		理科教育設備費等補助金を活用し、各学校のニーズを把握しながら新規で購入する設備・備品、旧式の備品の更新を順次実施していく。3年で全12校に整備できるように計画し、継続的に整備を行っていく。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		小学校2校 中学校2校で整備		小学校3校 中学校1校で整備		小学校3校 義務教育学校1校で整備		小学校2校 中学校2校で整備		小学校3校 中学校1校で整備	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	1,750		2,000		1,800		2,000		1,800	
	予算現額	2,000		1,800		1,800					
	決算額	1,900		1,682							
財源	国県支出金	1,000		900		900		1,000		1,000	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	1,000		900		900		1,000		800	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	各学校のニーズを把握し、要望に沿った備品の購入									
	B) A)における対応策	学校によっては十分な額とは言えない場合があるが、計画的な整備を行うよう助言する。									
	C) 新たな課題等	義務教育学校設立に伴い、ローテーションを見直す必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校スクールバス運行事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和元年度
	施策	2	教育環境の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		14823		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校再編に伴い、国分寺西小学校区に居住する児童を国分寺小学校へ送迎するためのスクールバスを運行する。									
事業概要		平成31年4月から運行管理業務委託によるスクールバス2台の運行を開始。 令和4年5月から、登下校時の送迎、校外授業時の利用を含む一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス）として運行を開始。（令和8年度までの長期継続契約） バス停留所3か所を設定									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		委託料 13,591千円	委託料 13,591千円	委託料 12,858千円	委託料 12,858千円	委託料 12,858千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	13,591		13,591		12,858		12,858		12,858	
	予算現額	13,591		12,914		12,858					
	決算額	13,591		12,900							
財源	国庫支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	13,591		12,914		12,858		12,858		12,858	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0				0					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和9年度以降の運行について、南河内小中学校のスクールバスと合わせて検討する。									
	B) Aにおける対応策	その他の課題もあり、5年後のリソースアップに向けて具体的な検討を行うこととした。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校給食センター設備改修事業				部名	教育委員会		グループ名	国分寺学校給食センター	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和2年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		15850	学校給食法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		給食センターは、事業開始から18年が経過しており、設備の老朽化が進んでいる。設備の故障は、修繕により対応してきたが、一部の設備で更新及び改修を要するものが出ている。計画的に設備の更新及び改修を図り、安心して安全な学校給食を提供する。									
事業概要		給食センター開設 平成18年9月1日 給食数 1,500食 調理機器設備等の更新及び改修									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			総事業費 6,000千円 備品購入費 6,000千円	総事業費 20,625千円 備品購入費 20,625千円	総事業費 31,163千円 工事請負費 5,060千円 備品購入費 26,103千円	総事業費 65,395千円 工事請負費 15,400千円 備品購入費 49,995千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	6,000	20,625	31,163	65,395					
	予算現額	0	7,359	13,024							
	決算額	0	7,029								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	3,000	0	0					
	一般財源	0	7,359	10,024	31,163	65,395					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業開始から20年近くが経過してきており、施設及び調理機器の老朽化が進み、更新・改修をする必要がある。									
	B) Aにおける対応策	施設及び調理機器の調査・点検を実施し、優先順位を付けて更新・改修を行う。									
	C) 新たな課題等	管理コストを考慮し、修繕するのか、入れ替えするのか、迅速な対応が必要になってきている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内小中学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	教育環境の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 18975		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	6,260	6,260	6,260					
	予算現額	0	0	7,592							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	7,592	6,260	6,260					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限りある予算の中で継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内小中学校教育振興事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	教育環境の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	教育振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		18454		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校経営方針に基づいた、教育課程の円滑な実施を図る。									
事業概要		教材教具の整備をする。 教育活動、特別活動を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
			教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		教材備品や図書等の整備、学力向上の教材備品等の購入、学校図書充実の整備費用、各種学校行事費用		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	0		7,274		5,594		5,594		5,594	
	予算現額	0		5,594		4,476					
	決算額	0		5,331							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	0		5,594		4,476		5,594		5,594	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	新学習指導要領に順次対応していく。									
	C) 新たな課題等	新学習指導要領に対応する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内小中学校給食管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		17336		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校給食の維持管理を図り、安全安心な学校給食を児童に提供する。									
事業概要		施設の管理や消耗品の購入を行い、自校給食の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入		給食室の維持管理、調理用消耗品や調理用洗剤等の購入	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	0		575		420		420		420	
	予算現額	0		420		420					
	決算額	0		420							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	0		420		420		420		420	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限りある予算の中で、継続して安全安心な学校給食を提供すること。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		学校教育サポートセンター整備事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和5年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	学校教育サポート事業の支援・充実					目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		19116		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校教育サポートセンターにおいて、建物の老朽化及び利用者・相談者の増加により施設の狭隘化が深刻なことから、新たな施設を整備する。									
事業概要		鉄筋コンクリート造り 2階建て 300㎡ (事務室・相談室・教室)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				実施設計	建設工事						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	14,047	136,628	0					
	予算現額	0	0	14,047							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	14,000	0	0					
	一般財源	0	0	47	136,628	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	既存施設の利活用を含めた慎重な検討を行う必要がある。									
	B) Aにおける対応策	既存施設(旧石橋公民館等)の利活用を検討したが、長期的な利用及び立地条件から、旧すみれ作業所跡地に建設する事とした。									
	C) 新たな課題等	利用者数の伸びを見据えた、適正規模の建設設計をする必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和4年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		確かな学力と芸術推進事業				部名	教育委員会		グループ名	学校管理・指導支援グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和6年度
	施策	2	教育環境の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		19518		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	該当なし							
2. 事業内容											
事業目的		文部科学省が進めるGIGAスクール構想やプログラミング教育の充実に向けて、整備を行い、確かな学力の定着を図る。									
事業概要		令和2年度に整備したプログラミング教材や一人一台タブレット端末について、国のGIGAスクール構想の推進や「令和の日本型学校教育」の提言を受けて、適宜見直しを図り、最適なものを整備していく。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
					小・義務教育学校(前期課程)のプログラミング教材の整備 タブレット端末へのアプリの導入 タッチペン(小・義務教育学校1年生)の整備	中・義務教育学校(後期課程)のプログラミング教材の整備 タブレット端末へのアプリの導入 タッチペン(小・義務教育学校1年生)の整備					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	9,891	3,610					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	9,891	3,610					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	一人一台端末(iPad)に対応できる最適なプログラミング教材の選択が困難であった。									
	B) Aにおける対応策	教材も徐々に開発されてきているので、幅広く検討していく。									
	C) 新たな課題等	教材の管理・運営について検討していく必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input checked="" type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input checked="" type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		教育情報ネットワーク活用事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成20年度
	施策	3	学校施設の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業	教育情報ネットワークを活用した情報教育の推進					目	3	教育研究所費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5890	学習指導要領 総則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						

2. 事業内容						
事業目的		市内小中学校を全校接続することにより、学校間の連携を深める。 校務にかかる情報を電子化し共有することにより事務の効率化を図る。 事務効率化により生まれた時間を児童生徒に向けることにより教育の質の向上を図る。				
事業概要		市内全校と教育委員会を結ぶ教育情報ネットワークの管理運営を行う。 グループウェアの共同利用により教育委員会・教職員間の情報共有を図る。 HPの管理運営・学校情報機器管理を行う。 令和6年度に国分寺地区の一部機器入替を予定している。				
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		事業費：57,995千円 需用費：360千円 役務費：2,399千円 委託料：41,497千円 借上料：13,739千円	事業費：43,275千円 需用費：301千円 役務費：11,430千円 委託料：14,512千円 借上料：17,032千円	事業費：68,370千円 需用費：287千円 役務費：6,863千円 委託料：41,437千円 借上料：18,136千円 備品購入費：1,647千円	事業費：48,477千円 需用費：814千円 役務費：6,863千円 委託料：14,609千円 借上料：24,106千円 備品購入費：2,085千円	事業費：49,905千円 需用費：287千円 役務費：6,863千円 委託料：14,576千円 借上料：27,765千円 備品購入費：414千円

◎事業費

(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	57,995	43,275	68,370	48,477	49,905
計画額	57,995	43,275	68,370	48,477	49,905
予算現額	69,612	41,424	42,189		
決算額	50,161	38,704			
財源					
国県支出金	0	0	0	0	0
地方債・その他	0	0	0	0	0
一般財源	69,612	41,424	42,189	48,477	49,905

3. 評価指標・課題等						
※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値						
指標名称		指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】
実績値			0			
目標達成率						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	情報機器の更新について、世界的な半導体不足等の影響を受けて機器調達は今までよりも難しい状況になっている(納期面と価格面)。				
	B) Aにおける対応策					
	C) 新たな課題等					

4. 1次評価		
※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。		
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難
総合評価	継続実施	

5. 2次評価			
事業区分 <input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定		市長判定	
必要性	A	必要性	A
有効性	A	有効性	A
効率性	A	効率性	A
総合評価	継続実施		継続実施

6. 評価結果		※市民評価実績	
総合評価	継続実施	令和3年度	
備考			

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校施設管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6158		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		児童の安全・安心な学校生活を確保するため、施設の修繕や定期的な保守管理が必要となることから、予算の一元管理による経費の削減と効率化を図りつつ、学校施設の修繕・維持管理を行う。									
事業概要		市内小学校施設における警備、電気、消防設備の保守、樹木管理等の実施によって、良好な学習環境と安全・安心な学校運営を確保する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		総事業費90,262千円 需用費58,540千円 役務費3,120千円 委託料25,029千円 借上料3,573千円	総事業費85,683千円 需用費56,800千円 役務費3,240千円 委託料22,498千円 借上料3,145千円	総事業費74,192千円 需用費44,650千円 役務費3,156千円 委託料23,241千円 借上料3,145千円	総事業費111,449千円 需用費79,761千円 役務費2,751千円 委託料25,810千円 借上料3,127千円	総事業費111,449千円 需用費79,761千円 役務費2,751千円 委託料25,810千円 借上料3,127千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	90,262	85,683	74,192	111,449	111,449					
	予算現額	86,000	74,192	111,134							
	決算額	85,151	90,102								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	323	324	323	324	324					
	一般財源	85,677	73,868	110,811	111,125	111,125					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0			0					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の老朽化等により修繕箇所が増えているので緊急修繕に対応できるような予算の確保が必要である。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校施設整備事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		6184	学校教育法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		児童の安全・安心な学校生活を確保するため、故障等による危険個所の改修工事を行う。									
事業概要		教育環境維持のため、故障等による危険個所の修繕・改修に係る設計及び工事。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	総事業費21,000千円 委託料 1,000千円 工事請負費 20,000千円		総事業費21,000千円 委託料 1,000千円 工事請負費 20,000千円		総事業費21,000千円 委託料 1,000千円 工事請負費 20,000千円		総事業費31,000千円 委託料 1,000千円 工事請負費 30,000千円		総事業費31,000千円 委託料 1,000千円 工事請負費 30,000千円		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	21,000		21,000		21,000		31,000		31,000	
	予算現額	18,687		26,058		11,556					
	決算額	17,038		25,825							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	18,687		26,058		11,556		31,000		31,000	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	学校からの突発的な修繕・改修要望に対応すべく、予算確保が必要となっている。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小学校コンピュータ管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6193		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		情報機器を活用し、学習の効果が上がる授業の工夫に努める。 情報通信機器等を活用し、下野市の将来を担う児童たちの情報活用能力の向上を図る。									
事業概要		教員用PC、パソコン教室用PCの定期更新を行う。 機器の保守を行う。 小学校コンピュータ導入台数 3,484台 教職員用 212台、PC教室用 350台、1人1台端末 2,922台 令和6年度に国分寺地区の一部機器入替を予定している。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費 74,946千円 修繕料: 100千円 委託料: 27,907千円 借上料: 46,939千円	事業費 76,006千円 修繕料: 300千円 委託料: 22,561千円 借上料: 53,145千円	事業費 96,000千円 修繕料: 300千円 委託料: 31,974千円 借上料: 63,726千円	事業費 65,960千円 修繕料: 300千円 委託料: 17,452千円 借上料: 48,208千円	事業費 73,770千円 修繕料: 1,250千円 委託料: 17,452千円 借上料: 55,068千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	74,946	76,006	96,000	65,960	73,770					
	予算現額	75,838	74,404	73,055							
	決算額	57,957	63,423								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	75,838	74,404	73,055	65,960	73,770					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	情報機器の更新について、世界的な半導体不足等の影響を受けて機器調達が今までよりも難しい状況になっている(納期面と価格面)。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成27年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		祇園小学校管理事業			部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ		
					課名	学校教育課					
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり			款	10	教育費		事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実			項	2	小学校費		事業終了年度	
	主な事業					目	1	学校管理費		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 6285		学校教育法 第五条			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,118	5,052	4,399	4,399	4,399					
	予算現額	5,052	4,399	3,952							
	決算額	4,900	4,566								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	5,052	4,399	3,952	4,399	4,399					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		緑小学校管理事業			部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ		
					課名	学校教育課					
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり			款	10	教育費		事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実			項	2	小学校費		事業終了年度	
	主な事業					目	1	学校管理費		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 6314		学校教育法 第五条			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,496	3,589	3,030	3,030	3,030					
	予算現額	3,666	3,030	2,913							
	決算額	3,265	3,112								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,666	3,030	2,913	3,030	3,030					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋小学校管理事業			部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ		
					課名	学校教育課					
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	将来を担う人づくり			款	10	教育費		事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実			項	2	小学校費		事業終了年度	
	主な事業					目	1	学校管理費		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 6343		学校教育法 第五条			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,982	4,054	4,255	4,255	4,255					
	予算現額	4,054	4,255	4,415							
	決算額	3,946	4,226								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,054	4,255	4,415	4,255	4,255					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		古山小学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6370		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	3,433		3,810		4,411		4,411		4,411	
	予算現額	3,810		4,411		4,791					
	決算額	4,072		4,656							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	3,810		4,411		4,791		4,411		4,411	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) A)における対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		細谷小学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6397		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,528	1,563	1,587	1,587	1,587					
	予算現額	1,563	1,587	1,656							
	決算額	1,631	1,567								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,563	1,587	1,656	1,587	1,587					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋北小学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	学校管理費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6424		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,663	2,489	2,667	2,667	2,667					
	予算現額	2,492	2,667	3,055							
	決算額	2,515	2,876								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,492	2,667	3,055	2,667	2,667					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺小学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6454		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,394	3,461	3,522	3,522	3,522					
	予算現額	3,461	3,522	3,352							
	決算額	3,527	3,766								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,461	3,522	3,352	3,522	3,522					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺東小学校管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	2	小学校費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	学校管理費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6508		学校教育法 第五条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校施設の適正な維持管理により、良好な学習環境を整備する。									
事業概要		学校行事を運営する。 教育環境の維持管理をする。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等	施設維持管理、給食燃料費、光熱水費等、校内の各種修繕料、保健室医薬材料費、複写機使用料、備品購入等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,796	1,528	2,082	2,082	2,082					
	予算現額	1,528	2,082	2,327							
	決算額	1,532	2,158								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,528	2,082	2,327	2,082	2,082					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	今後も限りある予算の中で、継続して学校施設を維持管理していくこと。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6867		学校教育法第5条、学校教育法12条、下野市学校運営協議会規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校の共通経費、事業を一元化し効率化を図りつつ、学校運営を支援する。									
事業概要		平成30年度より学校運営協議会制度を導入し、校長や保護者、地域住民を委員として任命し、地域とともにある学校づくりを推進している。 次年度の新入学生徒に入学通知を送付する。 生徒に対する各種健診を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、健康診断、保健衛生検査					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,549	4,004	3,262	3,216	3,216					
	予算現額	4,004	3,262	3,135							
	決算額	3,318	2,938								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,004	3,262	3,135	3,216	3,216					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校施設管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6887		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		生徒の安全・安心な学校生活を確保するため、施設の修繕や定期的な保守管理が必要となることから、予算の一元管理による経費の削減と効率化を図りつつ、学校施設の修繕・維持管理を行う。									
事業概要		市内3中学校施設における警備、電気、消防設備の保守、樹木管理等の実施によって、良好な学習環境と安全・安心な学校運営を確保する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		総事業費51,231千円 需用費 38,250千円 役務費 1,347千円 委託料 10,067千円 借上料 1,567千円	総事業費49,177千円 需用費 37,650千円 役務費 1,380千円 委託料 8,799千円 借上料 1,348千円	総事業費35,349千円 需用費 25,450千円 役務費 1,416千円 委託料 7,135千円 借上料 1,348千円	総事業費58,946千円 需用費 44,617千円 役務費 1,194千円 委託料 11,854千円 借上料 1,281千円	総事業費58,946千円 需用費 44,617千円 役務費 1,194千円 委託料 11,854千円 借上料 1,281千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	51,231		49,177		35,349		58,946		58,946	
	予算現額	49,372		35,349		58,946					
	決算額	44,971		44,711							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	49,372		35,349		58,946		58,946		58,946	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0				0					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の老朽化等により修繕箇所が増えているので緊急修繕に対応できるような予算の確保が必要である。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校施設整備事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成23年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費 6913		学校教育法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		生徒の安全・安心な学校生活を確保するため、故障等による危険個所の改修工事を行う。									
事業概要		教育環境維持のため、故障等による危険個所の修繕・改修における設計及び工事。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		委託料 500千円 工事請負費 10,500千円	委託料 500千円 工事請負費 10,500千円	委託料 500千円 工事請負費 10,000千円	委託料 1,000千円 工事請負費 22,000千円	委託料 1,000千円 工事請負費 22,000千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	10,500		11,000		10,500		23,000		23,000	
	予算現額	11,373		8,148		16,635					
	決算額	11,191		8,632							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		8,000		0		0	
	一般財源	11,373		8,148		8,635		23,000		23,000	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0									
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の老朽化等により突発的な修繕・改修に対応すべく、予算確保が必要となる。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		中学校コンピュータ管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 6921		○学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		情報機器を活用し、学習効果を高める授業の工夫に努める。 情報通信機器等を活用し、下野市の将来を担う生徒の情報活用能力の向上を図る。									
事業概要		教員用PC、パソコン教室用PC、特別・普通教室用PCの定期更新を行う。 情報機器の保守を行う。 コンピュータ導入台数 1,721台 教職員用105台、PC教室123台、1人1台端末1,493台 令和6年度に国分寺地区の一部機器入替を予定している。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費：32,310千円 需用費：100千円 委託料：10,369千円 借上料：21,841千円	事業費：32,713千円 需用費：300千円 委託料：9,643千円 借上料：22,770千円	事業費：40,925千円 需用費：300千円 委託料：12,742千円 借上料：27,883千円	事業費：31,886千円 需用費：300千円 委託料：6,742千円 借上料：24,844千円	事業費：36,090千円 需用費：786千円 委託料：6,742千円 借上料：28,562千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	32,310	32,713	40,925	31,886	36,090					
	予算現額	32,748	31,886	31,080							
	決算額	25,538	27,950								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	32,748	31,886	31,080	31,886	36,090					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	情報機器の更新について、世界的な半導体不足等の影響を受けて機器調達が今までよりも難しい状況になっている(納期面と価格面)。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成27年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内第二中学校区給食室改修事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和元年度
	施策	3	学校施設の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	令和8年度
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	4	学校給食費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		14855	義務教育諸学校等の施設等費の国庫負担等に関する法律	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		南河内地区学校給食検討委員会において、運営方式について検討がなされた結果、南河内第二中学校区については、祇園小学校を親とする親子方式が望ましいとの方向性が決定したため、各校の給食施設の改修を行う。									
事業概要		祇園小学校(親)：既存施設の改修及び増築 緑小学校、南河内第二中学校(受配校)：搬入口・配膳室等の整備 令和元年度：基本設計業務委託 令和2～4年度：建築基準法許可に向けた準備 令和5年度：給食方式及び建設候補地の再検討 令和6年度：実施設計業務委託、補助要望 令和7・8年度：改修工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		手数料 500千円 委託料 13,365千円	手数料 500千円 委託料 30,814千円	手数料 500千円 委託料 30,814千円	手数料 500千円 委託料 36,718千円	委託料 8,400千円 工事請負費 200,000千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	13,865		31,314		31,314		37,218		208,400	
	予算現額	5,749		0		0					
	決算額	4,550		0							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	5,749		0		0		37,218		208,400	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新たな候補地が挙がってきたので計画を再検討する必要がある。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内第二中学校トイレ改修事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	3	学校改修費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		17084	義務教育諸学校等の施設等費の国庫負担等に関する法律	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		時代の変化に伴う施設のづらさを解消するため、トイレの洋式化・ドライ化を図り、生徒にとって安全・安心な教育環境の充実を図る。									
事業概要		既存トイレの改修：便器の洋式化及び床面のドライ化 令和4年度：実施設計業務委託 令和5年度：I期改修工事 令和6年度：II期改修工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			委託料6,050千円	委託料 1,102千円 工事請負費 77,908千円	委託料 1,297千円 工事請負費 95,786千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	79,010	97,083	0					
	予算現額	0	6,050	92,460							
	決算額	0	5,742								
財源	国県支出金	0	0	18,469	0	0					
	地方債・その他	0	5,500	73,700	0	0					
	一般財源	0	550	291	97,083	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	補助が未採択となった場合の対応を検討する必要がある。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		義務教育学校施設管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 18469		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		児童・生徒の安全・安心な学校生活を確保するため、施設の修繕や定期的な保守管理が必要となることから、予算の一元管理による経費の削減と効率化を図りつつ、学校施設の修繕・維持管理を行う。									
事業概要		義務教育学校施設における警備、電気、消防設備の保守、樹木管理等の実施によって、良好な学習環境と安全・安心な学校運営を確保する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			総事業費22,900千円 需用費18,000千円 役務費900千円 委託料3,000千円 借上料1,000千円	総事業費19,356千円 需用費13,800千円 役務費900千円 委託料4,062千円 借上料594千円	総事業費19,356千円 需用費13,800千円 役務費900千円 委託料4,062千円 借上料594千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	21,900	19,356	19,356	0					
	予算現額	0	19,356	27,161							
	決算額	0	20,346								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	1	0	0					
	一般財源	0	19,356	27,160	19,356	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の老朽化等により修繕箇所が増えているので、緊急修繕に対応できるような予算の確保が必要である。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		義務教育学校施設整備事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		18485	義務教育諸学校等の施設等費の国庫負担等に関する法律	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		児童・生徒の安全・安心な学校生活を確保するため、故障等による危険個所の改修工事を行う。									
事業概要		教育環境維持のため、故障等による危険個所の修繕・改修における設計及び工事。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			総事業費5,500千円 委託料500千円 工事請負費5,000千円	総事業費5,500千円 委託料500千円 工事請負費5,000千円	総事業費5,500千円 委託料500千円 工事請負費5,000千円	総事業費5,500千円 委託料500千円 工事請負費5,000千円	総事業費5,500千円 委託料500千円 工事請負費5,000千円				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	5,000	5,500	5,500					
	予算現額	0	3,205	10,082							
	決算額	0	3,342								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	2,000	0	0	0					
	一般財源	0	1,205	10,082	5,500	5,500					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	突発的な修繕・改修に対応すべく、予算の確保が必要となる。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		義務教育学校コンピュータ管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 18493		学校教育法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		情報機器を活用し、学習の効果が上がる授業の工夫に努める。 情報通信機器等を活用し、下野市の将来を担う児童生徒たちの情報活用能力の向上を図る。									
事業概要		教員用PC、パソコン教室用PCの定期更新を行う。 機器の保守を行う。 義務教育学校コンピュータ導入台数 1,027台 教職員用 60台、PC教室用 82台、1人1台端末885台									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			事業費 3,982千円 委託料: 3,982千円	事業費 1,189千円 修繕料: 200千円 委託料: 989千円	事業費 1,136千円 修繕料: 200千円 委託料: 936千円	事業費 2,224千円 修繕料: 488千円 委託料: 936千円 借上料: 800千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	3,982	1,189	1,136	2,224					
	予算現額	0	1,189	1,136							
	決算額	0	894								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	1,189	1,136	1,136	2,224					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	情報機器の更新について、世界的な半導体不足等の影響を受けて機器調達が今までよりも難しい状況になっている(納期面と価格面)。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		義務教育学校給食共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	教育総務グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	1	教育総務費	事業終了年度	
	主な事業				目		4	学校給食費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 18504		学校給食法 第四条		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	①	「魅力的						
2. 事業内容											
事業目的		市内義務教育学校の学校給食の維持管理を図り、安全で安心な学校給食を生徒に提供する。									
事業概要		調理業務を民間業者に委託する。 (南河内小中学校) 調理室細菌検査年1回、調理員検便検査月2回、ノロ検査月1回(10~3月)を行う。 給食調理室の維持管理を行う。(防虫駆除・排気設備清掃)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			事業費 32,167千円 需用費: 659千円 役務費: 78千円 委託料: 31,430千円	事業費 32,167千円 需用費: 659千円 役務費: 78千円 委託料: 31,430千円	事業費 29,027千円 需用費: 713千円 役務費: 84千円 委託料: 28,230千円	事業費 34,824千円 需用費: 713千円 役務費: 84千円 委託料: 34,027千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	32,167	33,753	29,027	34,824					
	予算現額	0	33,753	32,303							
	決算額	0	29,089								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	33,753	32,303	29,027	34,824					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			-			-					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	故障による緊急的な機器の修繕等、迅速に対応する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	学校と連携し、迅速な対応をこころがけた。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		義務教育学校共通管理事業				部名	教育委員会		グループ名	学校教育グループ	
						課名	学校教育課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	3	学校施設の充実				項	4	義務教育学校費	事業終了年度	
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	1	学校管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		18629	学校教育法第5条、学校教育法12条、下野市学校運営協議会規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		学校の共通経費、事業を一元化し効率化を図りつつ、学校運営を支援する。									
事業概要		学校運営協議会制度を導入し、校長や保護者、地域住民を委員として任命し、地域とともにある学校づくりを推進している。 次年度の新入学生徒に対する就学時健康診断を10月から実施するとともに、2月には入学通知を送付する。 就学児童生徒に対する各種健診を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査	学校運営協議会委員の配置、入学通知、就学時健診、児童健康診断、保健衛生検査				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	1,885	1,940	1,940					
	予算現額	0	0	1,964							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	1,964	1,940	1,940					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
	B) Aにおける対応策	予算の執行状況を常に確認し、適切な執行を行う。									
	C) 新たな課題等	引き続き限りある予算の中で、安定した学校運営を継続していくこと									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋中学校屋内運動場照明改修事業				部名	教育委員会		グループ名	教育施設整備グループ	
						課名	教育総務課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	新規
	基本施策	1	将来を担う人づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和6年度
	施策	3	学校施設の充実				項	3	中学校費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業	小中学校施設等の充実					目	3	学校改修費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		19838	義務教育諸学校等の施設等費の国庫負担等に関する法律	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		老朽化による照明不点灯の解消及びLED化を行い、生徒にとって安全・安心な教育環境の充実を図る。									
事業概要		令和5年度：実施設計業務委託 令和6年度：工事管理業務委託、改修工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
					委託料 500千円 工事請負費 52,266千円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	52,766	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	52,766	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定						市長判定					
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		社会教育総務事務費				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	生涯学習の推進				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	生涯学習の推進					目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費		7183	教育基本法、社会教育法、下野市社会教育委員の定数及び任期に関する条例、下野市自治基本条例		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(イ)生							
2. 事業内容											
事業目的	下野市生涯学習推進計画（第三次）の理念である、「多様な学習を通じた自己成長と自己実現」「学習仲間との交流による絆づくりと心豊かな生活」「学びを基盤とした地域づくり」を実現するために、学習機会・情報の提供等の学習環境の整備を行う。										
事業概要	市の社会教育の振興を図るために、社会教育委員会議を開催する。また、市民の自発的な学習を支援するために生涯学習情報誌「エール」を発行する。										
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回)	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回)	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回) ・ファミリーエ下野市民運動の支援	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回) ・ファミリーエ下野市民運動の支援	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回)	・社会教育委員会議の開催(年3回) ・生涯学習情報誌エールの発刊(年1回) ・ファミリーエ下野市民運動の支援					
◎事業費											
(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
事業費	計画額	2,614	2,696	2,696	6,791	7,010					
	予算現額	2,755	2,111	2,299							
	決算額	1,699	1,922								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,755	2,111	2,299	6,791	7,010					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称	講座・講演会の年間受講者数					指標の計算式等					
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	年間約100名増×5年間					
	実績値	1585	9350	4516	7709	9700					
	目標達成率	16.9%		48.0%	81.1%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	専門職として社会教育行政の中核を担う社会教育主事の資格取得者を増やす必要がある。									
	B) Aにおける対応策	令和4年度において社会教育主事講習を2名受講し、令和5年度では1名受講予定である。資格取得者の増に伴い専門的な助言・指導を実施していく。									
	C) 新たな課題等	地域コミュニティを支える基盤としての存在価値を高めるため、社会教育施設（公民館、図書館）の機能強化を検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A					必要性	A				
有効性	A					有効性	A				
効率性	A					効率性	A				
総合評価	継続実施										
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		生涯学習推進事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	生涯学習の推進				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	生涯学習の推進					目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費		7206	教育基本法、社会教育法、下野市自治基本条例、下野市生涯学習推進本部設置要綱、下野市生涯学習推進協議会設置要綱		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(イ)生							
2. 事業内容											
事業目的	生涯学習推進計画(第三次)の目的である「生涯学習を通じたひと・まちづくり」実現のため、「多様な学習を通じた自己成長と自己実現」「学習仲間との交流による絆づくりと心豊かな生活」「学びを基盤とした地域づくり」を推進する。										
事業概要	生涯学習推進本部会(年1回) 生涯学習推進協議会(年3回) ふれあい学習推進委員会議(年2回)										
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	・生涯学習推進本部の開催 ・推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進	・生涯学習推進本部会の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進	・生涯学習推進本部会の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進	・生涯学習推進本部会の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進	・生涯学習推進本部会の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進	・生涯学習推進本部会の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・ふれあい学習の推進					
◎事業費											
(単位:千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
事業費	計画額	291	192	132	126	2,410					
	予算現額	192	203	126							
	決算額	153	182								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	192	203	126	126	2,410					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称	講座・講演会の年間受講者数					指標の計算式等					
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	年間約100名増×5年間					
	実績値	1585	9350	4516	7709	9700					
	目標達成率	16.9%		48.0%	81.1%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	第三次計画の進捗管理を行う必要がある。									
	B) Aにおける対応策	生涯学習推進協議会において、協議会提言関連事業の現状を報告し、第三次計画の進捗状況の確認を実施した。									
	C) 新たな課題等	協議会提言関連事業の増加に伴い、各事業の論点整理など内容の精査を行う必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		社会教育事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	生涯学習の推進				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	学校・家庭・地域の連携の推進					目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7231		教育基本法、社会教育法、下野市自治基本条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体	市子ども会育成会連絡協議会				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		社会参画意識や地域連帯意識の醸成を目的として事業を実施する。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体に対する活動支援及び補助金交付 二十歳のつどいの開催 年輪のつどいの開催 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体への支援 成人式挙行 年輪の集い実施 コミュニケーション力アップ講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体への支援 二十歳のつどい挙行 年輪の集い実施 コミュニケーション力アップ講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体への支援 二十歳のつどい挙行 年輪のつどい実施 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体への支援 二十歳のつどい挙行 年輪のつどい実施 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体への支援 二十歳のつどい挙行 年輪のつどい実施 					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,562	2,655	2,655	2,919	2,919					
	予算現額	4,862	2,633	3,040							
	決算額	5,497	3,167								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,862	2,633	3,040	2,919	2,919					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		講座・講演会の年間受講者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	年間約100名増×5年間				
実績値		1585	9350	4516	7709	9700					
目標達成率		16.9%		48.0%	81.1%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	二十歳のつどい等の集会について、感染症対策を十分に行える会場や備品を確保する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	二十歳のつどい等の集会について、感染症対策を考慮した会場の変更を行った。									
	C) 新たな課題等	社会教育関係団体が事業を効果的に実施できるよう、働きかけを行う必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		生涯学習による協働のまちづくり支援事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成22年度
	施策	2	学校・家庭・地域の連携の推進				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	学校・家庭・地域の連携の推進					目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7284		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		生涯学習推進計画(第三次)の目的である「生涯学習を通じたひと・まちづくり」の実現に向けて、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、まちづくりに関する学習機会を提供し、市民のまちづくりへの参加をサポートする。									
事業概要		持続可能なまちづくりのためには市民の力が欠かせないため、市民協働によるまちづくりを実践するプレイヤーの取組や先進事例などについて専門家を招いて学ぶ機会を提供するための講演会を開催する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		ひと・まちづくり講演会の開催	ひと・まちづくりイベントの開催	ひと・まちづくりイベントの開催	ひと・まちづくりイベントの開催	ひと・まちづくりイベントの開催					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	50	50	100	50	50					
	予算現額	50	50	50							
	決算額	27	35								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	50	50	50	50	50					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		講座・講演会の年間受講者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	年間約100名増×5年間				
実績値		1585	9350	4516	7709	9700					
目標達成率		16.9%		48.0%	81.1%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	若者や子育て世代が積極的に参加できるよう、開催場所や形態を見直す必要がある。									
	B) Aにおける対応策	下野市役所4階屋上テラスにて、地域づくりの実践者によるトークセッションを開催した。									
	C) 新たな課題等	若者・子育て世代が自然と集い、自らつながりを広げていくことのできる機会を提供する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		青少年育成事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	青少年の健全育成				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7247		教育基本法、社会教育法、下野市自治基本条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体	市立学校音楽祭実行委員会				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		様々な体験活動やボランティア活動を通して、自ら学び考え、主体的に判断・行動できるよう青少年の社会参加を支援する。また、青少年育成団体との協働事業の実施により、市民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組む環境を醸成する。									
事業概要		青少年団体（下野ジュニアリーダーズクラブ（JLC））の活動支援 青少年育成団体との協働による事業（市立学校音楽祭・子どもなんでも発表会）の実施 青少年育成環境整備事業（立入調査）の実施									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・青少年育成団体支援及び協働事業の実施 ・JLCの育成、支援 ・立入調査の実施	・青少年育成団体支援及び協働事業の実施 ・JLCの育成、支援 ・立入調査の実施	・青少年育成団体支援及び協働事業の実施 ・JLCの育成、支援 ・立入調査の実施	・JLCの育成、支援 ・青少年育成団体との協働事業の実施 ・立入調査の実施	・JLCの育成、支援 ・青少年育成団体との協働事業の実施 ・立入調査の実施					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,423	1,376	1,366	713	713					
	予算現額	1,376	1,366	713							
	決算額	235	208								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,376	1,366	713	713	713					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		ジュニアリーダーズクラブ会員数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	会員数				
実績値		20	15人	27	18	20人					
目標達成率		133.3%		150%	90%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	団体の活躍の場を確保する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	なんでも発表会において、感染症対策を講じたうえで、市役所1階ロビーにて、子どもたちが制作した作品や収集物等を映したポスターを展示する形式で開催した。									
	C) 新たな課題等	団体の発表や活動の場として、自治医科大学地域医療情報研修センターを活用を検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		家庭教育支援事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成27年度
	施策	4	家庭教育の推進				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	社会教育総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7289	教育基本法、社会教育法	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		人が基本的な生活習慣や豊かな情操・倫理観・自立心などを身につけるために、家庭教育は重要な役割を果たす。こうしたことから、家庭教育の学習機会を充実し、親子の健やかな成長を支援する。									
事業概要		小・中・義務教育学校での家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームひばりの活動支援									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援	家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援	家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援	家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援	家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援	家庭教育学級の開催 家庭教育支援チームの活動支援				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	225	195	195	169	169					
	予算現額	195	195	169							
	決算額	14	54								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	195	195	169	169	169					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		家庭教育学級の延べ参加者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	参加者数				
実績値		30	1,000人	53	346	800人					
目標達成率		3%		6.6%	69.2%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	「ひばり」メンバーの少数固定化、高齢化が見られ、後継者の育成が引き続き必要である。									
	B) Aにおける対応策	「家庭教育支援チームひばり」の活動の場の確保に努めた。									
	C) 新たな課題等	「ひばり」メンバーの少数固定化、高齢化が見られ、後継者の育成が引き続き必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内公民館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	南河内公民館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	5	公民館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7619		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生		社会教育法、下野市公民館設置条例、下野市公民館設置条例施行規則、下野市公民館の設置及び運営に関する基準				
2. 事業内容											
事業目的		地域に根ざした生涯学習の中核施設として、地域課題を的確に把握し、あらゆる世代に親しまれる各種講座の開催を行うことで市民の自発的な学習を推進する。また、自主サークル、各種団体への情報提供や支援を行い、市民による相互学習を通じて市民の自立を促すことで自治意識の向上を図り、市民によるまちづくりの足がかりとする。									
事業概要		講座開催：家庭教育・青少年・成人・高齢者・セカンドステージ支援・まちづくり入門講座等 指導事業：公民館自主サークルや各種団体の育成・支援 公民館まつりの開催：自主サークル活動の成果発表及び地域との交流事業 管理運営業務：公民館施設の維持管理及び運営業務									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	12,732	15,280	15,370	18,810	18,909					
	予算現額	15,578	15,280	18,838							
	決算額	13,871	15,566								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	847	578	573	578	578					
	一般財源	14,731	14,702	18,265	18,232	18,331					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公民館の利用者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	講座・自主サークル活動・公民館まつり参加者、会議・打合せ利用者。				
実績値		29,652人	103,000人	40,211人	57,533人	120,000人					
目標達成率		28.7%		33.5%	47.9%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	ロビーの中・高生の使用頻度が上がっており、密にならないレイアウトが必修									
	B) Aにおける対応策	机、テーブルの配置を変更及び机の増設を実施、常時換気のため、網戸設置									
	C) 新たな課題等	感染症緩和による利用者増等に対する対応									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		南河内東公民館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	南河内東公民館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	5	公民館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7657	社会教育法、下野市公民館設置条例、下野市公民館設置条例施行規則、下野市公民館の設置及び運営に関する基準	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		地域に根ざした生涯学習の中核施設として、地域課題を的確に把握し、あらゆる世代に親しまれる各種講座の開催を行うことで市民の自発的な学習を推進する。また、自主サークル各種団体への情報提供や支援を行い、市民による相互学習を通じて市民の自立を促すことで自治意識の向上を図り、市民によるまちづくりの足がかりとする。									
事業概要		講座開催：家庭教育・青少年・成人・高齢者・セカンドステージ支援・まちづくり入門講座等 指導事業：公民館自主サークルや各種団体の育成・支援 公民館まつりの開催：自主サークル活動の成果発表及び地域との交流事業 公民館施設管理運営業務：管理運営業務									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	7,353		7,034		7,419		8,286		8,278	
	予算現額	7,180		7,419		8,289					
	決算額	5,829		6,798							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	540		450		511		450		450	
	一般財源	6,640		6,969		7,778		7,836		7,828	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公民館の利用者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	講座・自主サークル活動・公民館まつり参加者、会議・打合せ利用者				
実績値		29,652人	103,000人	40,211人	57,533人	120,000人					
目標達成率		28.7%		33.5%	47.9%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	第2次公民館振興計画に基づく事業の見直し。									
	B) Aにおける対応策	第2次公民館振興計画に基づき講座を企画して実施した。									
	C) 新たな課題等	第2次公民館振興計画に基づく事業の推進。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋公民館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	石橋公民館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	5	公民館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7690	社会教育法、下野市公民館設置条例、下野市公民館設置条例施行規則、下野市公民館の設置及び運営に関する基準	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		地域に根ざした生涯学習の中核施設として、地域課題を的確に把握し、あらゆる世代に親しまれる各種講座の開催を行うことで市民の自発的な学習を推進する。また、自主サークル、各種団体への情報提供や支援を行い、市民によるまちづくりの足がかりとする。									
事業概要		講座開催：家庭教育・青少年・成人・高齢者・セカンドステージ支援・まちづくり入門講座等 指導事業：公民館自主サークルや各種団体の育成・支援 公民館まつりの実施：自主サークル活動の成果発表及び地域との交流事業 公民館施設管理運営業務：管理運営業務									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理 新公民館へ機能移転		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	7,139		7,031		17,382		28,512		27,612	
	予算現額	7,031		19,276		43,263					
	決算額	6,446		12,757							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	1,134		11,555		11,610		0		0	
	一般財源	5,897		7,721		31,653		28,512		27,612	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公民館の利用者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	講座・自主サークル活動・公民館まつり参加者、会議・打合せ利用者				
実績値		29,652人	103,000人	12,982人	62,987人	120,000人					
目標達成率		28.7%		2.5%	52.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	石橋複合施設の運用。									
	B) Aにおける対応策	令和4年12月4日に公民館・児童館として開館した。									
	C) 新たな課題等	貼り紙をしても繰り返す私用駐車への対応。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		国分寺公民館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	公民館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	5	公民館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7732	社会教育法、下野市公民館設置条例、下野市公民館設置条例施行規則、下野市公民館の設置及び運営に関する基準	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		地域に根ざした生涯学習の中核施設として、地域課題を的確に把握し、あらゆる世代に親しまれる各種講座の開催を行うことで市民の自発的な学習を推進する。また、自主サークル、各種団体への情報提供や支援を行い、市民による相互学習を通じて市民の自立を促すことで自治意識の向上を図り、市民によるまちづくりの足がかりとする。									
事業概要		講座開催：家庭教育・青少年・成人・高齢者・セカンドステージ支援・まちづくり入門講座等 指導事業：公民館自主サークルや各種団体の育成・支援 公民館まつりの開催：自主サークル活動の成果発表及び地域との交流事業 公民館施設管理運営業務：管理運営業務									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理		公民館講座の開催 自主サークルの活動支援 公民館まつりの開催 施設の適正な維持管理	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	31,366		31,683		31,683		31,683		31,683	
	予算現額	31,683		34,131		36,142					
	決算額	28,285		31,800							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	1,250		1,011		1,052		1,940		1,940	
	一般財源	30,433		33,120		35,090		29,743		29,743	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公民館の利用者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	講座・自主サークル活動・公民館まつり参加者、会議・打合せ利用者				
実績値		29,652人	103,000人	40,211人	62,987人	120,000人					
目標達成率		28.7%		33.6%	52.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	拠点のとしての機能の充実、不備箇所等の改善。									
	B) Aにおける対応策	不備箇所等改善・修繕工事の実施									
	C) 新たな課題等	第2次公民館振興計画に基づく事業の推進。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成26年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		図書館共通管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	石橋図書館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成26年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	6	図書館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7802	図書館法、下野市立図書館設置条例、下野市立図書館運営規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		生涯学習の拠点として下野市立図書館（石橋・国分寺・南河内）3館の共通管理運営を推進する。									
事業概要		指定管理者による定型的業務の管理運営を行う。 図書館協議会 年5回開催予定。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・市立図書館3館(石橋、国分寺、南河内図書館)の指定管理者による定型的業務の管理運営を行う。 ・指定管理者選定		・市立図書館3館(石橋、国分寺、南河内図書館)の指定管理者による定型的業務の管理運営を行う。 ・図書館管理システム構築業務委託		市立図書館3館(石橋・国分寺・南河内図書館)の指定管理者による定型的業務の管理運営を行う。		市立図書館3館(石橋・国分寺・南河内図書館)の指定管理者による定型的業務の管理運営を行う。			
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	104,194	122,781	125,060	125,781	125,729					
	予算現額	103,234	123,394	125,781							
	決算額	103,583	123,560								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	5,790	4,060	2,359	0	0					
	一般財源	97,444	119,334	123,422	125,781	125,729					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		市民1人当たりの年間貸出冊数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	総貸出冊数÷市人口(年度末)				
実績値		5.3冊	7冊	5.8冊	5.9冊	7冊					
目標達成率		75.7%		82.9%	84.3%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新型コロナウイルス感染症対策により減少した利用者の増加									
	B) Aにおける対応策	指定管理者と連携し、利用者数・貸出冊数の増加に努めた									
	C) 新たな課題等	図書館基本計画(第二次)に基づく事業の推進									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		図書館施設修繕事業				部名	教育委員会		グループ名	石橋図書館	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成24年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		6	図書館費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		7862	図書館法、下野市立図書館設置条例、下野市立図書館運営規則	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		経年劣化にともなう図書館施設の改修、修繕を実施する									
事業概要		3館すべてが築後30年以上を経過し、経年劣化により改修を必要とする箇所が頻出しているため改修、修繕を実施する									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		経年劣化にともなう図書館施設の建物調査診断・改善保全計画の策定 改修工事実施設計の実施 WiFi新設工事	経年劣化にともなう図書館施設の修繕を行う	経年劣化にともなう図書館施設の修繕を行う 照明施設のLED化	経年劣化にともなう図書館施設の修繕を行う 照明施設のLED化	経年劣化にともなう図書館施設の修繕を行う					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,048	3,054	6,490	6,490	6,490					
	予算現額	2,150	1,298	1,298							
	決算額	8,310	2,598								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	1,000	0	0	0					
	一般財源	2,150	298	1,298	6,490	6,490					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	経年劣化により改修を必要とする箇所が頻出している。									
	B) Aにおける対応策	経年劣化にともなう図書館施設の修繕を行う。									
	C) 新たな課題等	3館すべてが築後35年以上を経過し、経年劣化により改修を必要とする箇所が頻出している。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		生涯学習情報センター管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習情報センター	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成19年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	7	生涯学習情報センター費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7870		下野市生涯学習情報センター条例及び施行規則		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)生						
2. 事業内容											
事業目的		市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、ボランティア講座や指導者養成講座、スキルアップ講座など各種講座の開催や「まちづくりリクエスト講座」の受付・連携調整を行う。 また、市民が培った知識や経験・技能を学びに活かし、地域ぐるみで子どもを育てる「学校支援」や地域社会に活かす「生涯学習」を推進するため、2つのボランティアバンクを管理し、学習者と支援者間の連携調整を行う。									
事業概要		○学校支援ボランティア・生涯学習ボランティアバンクの管理運営及びコーディネート。 ○ボランティアバンク登録者の活動支援。 ○まちづくりリクエスト講座の受付・コーディネート。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		生涯学習情報センター管理運営	生涯学習情報センター管理運営	生涯学習情報センター管理運営	生涯学習情報センター管理運営	生涯学習情報センター管理運営					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	8,531	5,038	6,423	6,563	6,618					
	予算現額	5,904	5,699	6,594							
	決算額	5,500	4,374								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	41	0	0	0	0					
	一般財源	5,863	5,699	6,594	6,563	6,618					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		市民活動団体及び講座開催等による年間来館者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	年間実績による				
実績値		2571	7000			1000					
目標達成率		36.7%		220.8%	125.6%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	ボランティア養成講座の受講生のボランティアバンク登録による人材確保に苦勞している。									
	B) Aにおける対応策	公民館と連携し公民館講座の受講者にボランティア登録のお願いに歩いたり、各学校を訪問し学校が求めている人材を伺い、キャリア教育に必要な多種多様な職業人の人材発掘に努めた。									
	C) 新たな課題等	今年度は保育所や児童館、その他施設を訪問し、生涯学習ボランティアバンク登録者の周知を図り活動の場を広げるようボランティアの要請を図っていく。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		旧石橋公民館解体事業				部名	教育委員会		グループ名	生涯学習推進グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	生涯にわたり学べる機会づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和5年度
	施策	5	生涯学習施設の充実				項	5	社会教育費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業	生涯学習施設の整備及び管理運営					目	5	公民館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		19214		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		石橋複合施設の供用開始に伴い、旧石橋公民館の解体及び跡地の有効活用を図る。									
事業概要		旧石橋公民館跡地の利活用に向け、敷地及び建物に関する調査を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				解体に向けた設計	アスベスト調査 建物図面作成 フェンス撤去工事						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	3,300	4,500	0					
	予算現額	0	0	3,300							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	3,300	4,500	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		公民館の利用者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	講座・自主サークル活動・公民館まつり参加者・会議・打合せ利用者				
実績値			103,000人			120,000人					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	実施設計を行う必要がある。									
	B) Aにおける対応策	実施設計の予算を確保した。									
	C) 新たな課題等	跡地の利活用方法の検討を要する。借地契約者への説明、調整が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		保健体育総務事務費				部名	教育委員会		グループ名	スポーツ振興グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	スポーツの推進				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	保健体育総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7905		スポーツ基本法 下野市スポーツ推進審議会に関する条例等		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)①						
2. 事業内容											
事業目的		スポーツ振興行政の運営全般に関する事業であり、その基盤となるスポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会、少年スポーツ指導員、その他、B&G海洋センターに関する事務事業を執行する。									
事業概要		市スポーツ推進審議会は、スポーツの推進に関する事項等について審議をする。 市スポーツ推進委員会は、スポーツ振興事業について審議をする。 市少年スポーツ指導員は、市スポーツ少年団の育成、又は、少年スポーツの推進について指導する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 総合型地域スポーツクラブ事務局員賃金等	推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 会計年度任用職員報酬等	推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 会計年度任用職員報酬等	推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 会計年度任用職員報酬等	推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 会計年度任用職員報酬等	推進審議会・推進委員会・少年団指導員報酬 会計年度任用職員報酬等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	10,949	11,786	11,906	12,821	16,531					
	予算現額	11,786	11,906	11,952							
	決算額	9,430	9,655								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	11,786	11,906	11,952	12,821	16,531					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		スポーツ活動の実施率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率 目標値 平成37年度 55.0%				
実績値		76.1%				91					
目標達成率		143.6%	53								
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	感染症の影響で多くの事業中止となり推進委員のスポーツに対する意欲が低くなってしまっている。また、運動部活動の地域移行に関して推進審議会で見直しを求める必要がある。									
	B) Aにおける対応策	スポーツ推進委員会理事会の中で委員の意識改革について、検討を行うことが決まっている。また、学校部活動地域移行についても同様にスポーツ推進審議会の中で意見を求めることになっている。									
	C) 新たな課題等	学校部活動地域移行に関しては、令和6年度が移行の初年度となるため、検討し、決定したことを実践し、管理運営上の課題を抽出して、令和7年度以降の運営に繋げなければならない。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		スポーツ振興事業				部名	教育委員会		グループ名	スポーツ振興グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	スポーツの推進				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	保健体育総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7950	下野市スポーツ推進計画下野市スポーツ大会出場激励金及び褒賞金交付要綱	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		市民のスポーツニーズに的確に対応しながらスポーツ振興を図る。また、各種スポーツ団体の補助については、より効果的な事業運営ができるよう支援を行う。 市民が生涯をとおしてスポーツを楽しみ取り組むきっかけとするため、スポーツ・レクリエーション活動の機会を提供しスポーツの振興を図る。また、本市の生涯スポーツ推進の核となっている各種スポーツ団体を補助育成し生涯スポーツ推進の基盤を強化する。									
事業概要		スポーツに接する機会の提供を図るため、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催する。スポーツへの関心を高めるため、ニュースポーツの普及推進を図る。また、障がい者の社会参加を促進するため、障がい者スポーツ交流会を開催する。 競技スポーツの向上及び少年スポーツの振興を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団に補助金を交付して支援する。 全国大会等出場者へ激励金及び褒賞金を交付し、スポーツ活動の支援を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		スポーツ教室委託 体育協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等	スポーツ教室委託 スポーツ協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等	スポーツ教室委託 スポーツ協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等	スポーツ教室委託 スポーツ協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等	スポーツ教室委託 スポーツ協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等	スポーツ教室委託 スポーツ協会、スポーツ少年団補助金 全国大会等出場者激励金等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	18,486	11,963	12,325	12,578	12,284					
	予算現額	11,963	12,325	13,040							
	決算額	8,263	12,920								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	11,963	12,325	13,040	12,578	12,284					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		スポーツ活動の実施率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率、目標値 平成37年度 55.0%				
実績値		76.1%				91					
目標達成率		143.6%	53								
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	数年中止となっていた大会等をどのように開催していくのか検討する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	コロナ禍以前のスポーツ教室等の業務委託においては、委託先のスポーツクラブにヒアリングを行い、今年度の実施教室と次年度の事業計画について調整中である。									
	C) 新たな課題等	今年度、天平マラソンについては、リアル開催が予定されるが、従前どおり実施し、課題を見出して次年度の開催に備えなければならない。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市民体育祭開催事業				部名	教育委員会		グループ名	スポーツ振興グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	スポーツの推進				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	保健体育総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7977		下野市スポーツ推進計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		市民総スポーツひとり1スポーツの基本理念のもと、地域の融和と一体化を図り、併せて地域コミュニティの醸成を図るため市民体育祭を開催する。									
事業概要		市民体育祭の自治会対抗の種目別大会としてティーボール大会及びキンボールスポーツ大会を、運動会として石橋地区及び国分寺地区でそれぞれ開催する。南河内地区については、運動会に代えてスポーツフェスティバルを開催する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等	商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等	商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等	商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等	商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等	商品代・看護師・協力者・審判員謝金 大会等準備・当日保険料 仮設トイレ・テント等借上等				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	3,615	2,758	2,749	2,749	2,760					
	予算現額	2,868	2,749	2,756							
	決算額	110	575								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,868	2,749	2,756	2,749	2,760					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		市民体育祭参加者数合計					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	ティーボール大会はチーム数×15人、キンボール大会はチーム数×4人で計算				
実績値			4500	0		4600					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	アンケート結果を基に、市民が安心して参加できるような開催方法を再度検討する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	今年度実施の市民体育祭の中で、特に運動会については、再度アンケート調査を実施し、令和5年度の運動会実施に向けて、スポーツ推進委員会を中心に検討中である。									
	C) 新たな課題等	石橋地区は、短縮プログラムでの実施が決定したが、国分寺地区に関しては未だ決定していないのが現状である。令和6年度以降は、実施方針決定を含めて									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		総合型地域スポーツクラブ活動支援事業				部名	教育委員会		グループ名	スポーツ振興グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	保健体育総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8002		栃木県スポーツ推進計画2020・下野市スポーツ推進計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		国のスポーツ基本計画に基づき生涯をとおしてスポーツに親しめる環境づくりや活力ある地域コミュニティづくりを目的に設置され、現在では地域住民が主体となって、地域に密着した特色ある事業を展開し地域スポーツの推進役となっているスポーツクラブの活動を支援する。									
事業概要		3地区に設置された各クラブに対し、活動運営費の補助を行い自主運営に向けた活動を支援する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内	活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内	活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内	活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内	活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内	活動費補助金交付 NPO法人 グリムの里スポーツクラブ 夢くらぶ国分寺 元気ワイワイ南河内				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	750	750	750	750	750					
	予算現額	750	750	750							
	決算額	750	750								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	750	750	750	750	750					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		クラブ主催事業の延べ参加者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	-				
実績値			23000								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	運動部活動の地域移行に関して情報を共有していく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	令和4年度末において、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を実施し、情報共有と意見交換を実施した。また、令和5年度は、検討委員会を発足すると同時に市としての方向性を決定していく。									
	C) 新たな課題等	令和6年度夏の移行可能な部活動の実施状況を検証し、それ以降の部活動移行のモデルケースを確立していかなければならない。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		体育館管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	体育施設費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8008		体育施設条例、B&G海洋センター条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、利用者に安全で快適なスポーツの場を提供する。									
事業概要		体育館の維持管理を実施する。(南河内体育センター・南河内東体育館・石橋体育センター・国分寺B&G海洋センター・国分寺聖武館・旧国分寺西小学校体育館) > 体育センター等の窓口業務を総合型スポーツクラブへ委託する。 > 体育館の清掃作業、保守点検、修繕等を実施する。 > 体育館の消耗品費、光熱水費を支出する。 > 体育館の備品の補充及び更新等を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		体育館維持管理(消耗品、光熱水費、修繕、保守点検、清掃作業、窓口業務等)	体育館維持管理	体育館維持管理	体育館維持管理	体育館維持管理	体育館維持管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	36,569	36,743	37,719	43,435	42,584					
	予算現額	35,366	37,719	42,807							
	決算額	29,962	36,977								
財源	国庫支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	6,881	6,306	7,082	9,200	9,200					
	一般財源	28,485	31,413	35,725	34,235	33,384					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用者数合計				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	※学校体育館利用者数含む				
実績値		142,093名	120,000名	203,342名	249,544名	261,000名					
目標達成率		54.4%		77.9%	95.6%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) A)における対応策	バスケットゴールの点検計画に基づき点検を実施した。また、床面のメンテナンスを実施し、状態を確認した。									
	C) 新たな課題等	競技用備品の不足や故障が多く、計画的な更新や修繕が求められている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		運動場管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	体育施設費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8025		都市公園条例、体育施設条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、利用者に安全で快適なスポーツの場を提供する。									
事業概要		運動場の維持管理を実施する。(別処山公園・大松山運動公園・国分寺運動公園・五千石球場・諏訪山球場・西坪山球場・南河内球場・南河内東部運動広場・尼寺グラウンド・みのわ古城公園・南河内ゲートボール場・南河内テニスコート・祇園原テニスコート) > 運動場の清掃作業、保守点検、修繕、樹木管理等を実施する。 > 運動場の消耗品費、光熱水費等を支出する。 > 競技用備品の補充及び更新等を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		運動場維持管理(消耗品、光熱水費、修繕、保守点検、清掃作業、樹木管理、砂、砂利等)	運動場維持管理	運動場維持管理	運動場維持管理	運動場維持管理	運動場維持管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	37,205	106,115	116,266	123,406	123,245					
	予算現額	100,137	113,949	124,294							
	決算額	91,619	106,747								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	18,497	15,819	13,623	14,500	14,500					
	一般財源	81,640	98,130	110,671	108,906	108,745					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用者数合計				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	※学校校庭利用者数含む				
実績値		231,728名	270,000名	257,221名	362,540人	447,500名					
目標達成率		51.8%		57.5%	81.0%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	公園内の遊具やベンチ、東屋等について、状況を把握し更新及び修繕計画を作成した。									
	C) 新たな課題等	競技用備品の不足や破損が目立ち、効率的な更新が必要になっている。また、それらを適正に保管する場所の確保を要している。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		武道館管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	体育施設費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8049		下野市体育施設条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、利用者に安全で快適なスポーツの場を提供する。									
事業概要		武道館の維持管理を実施する。(南河内武道館、石橋武道館、国分寺武道館) > 武道館の清掃作業、保守点検、修繕等を実施する。 > 武道館の消耗品費、光熱水費等を支出する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		武道館維持管理		武道館維持管理		武道館維持管理		武道館維持管理		武道館維持管理	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	1,187		1,315		1,328		1,394		1,394	
	予算現額	9,506		1,328		1,395					
	決算額	7,346		1,127							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	6,965		1,101		333		350		350	
	一般財源	2,541		227		1,062		1,044		1,044	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用者数合計					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	学校武道館利用者数含む				
実績値		83,295名	40,000名	44,445名	44,593名	106,500名					
目標達成率		78.2%		41.7%	41.9%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	畳や床の状態を把握し利用者へ使用方法の改善を周知した。									
	C) 新たな課題等	施設の老朽化や稼働率等を考慮し統廃合を含めたあり方の検討を要している。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		弓道場管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	体育施設費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8063		体育施設条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、スポーツの場を提供する。									
事業概要		弓道場の維持管理を実施する。(石橋弓道場・国分寺静思館) > 弓道場の清掃作業、保守点検、修繕等を実施する。 > 弓道場の消耗品費、光熱水費等を支出する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		弓道場維持管理(消耗品、光熱水費、修繕、保守点検、清掃作業等)	弓道場維持管理	弓道場維持管理	弓道場維持管理	弓道場維持管理	弓道場維持管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	451	642	647	656	656					
	予算現額	442	647	656							
	決算額	442	506								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	442	324	456	450	450					
	一般財源	0	323	200	206	206					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用者数合計					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	利用者数合計				
実績値		15,777名	13,000名	37,058名	48,186名	22,500名					
目標達成率		70.1%		164.7%	214.2%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) A)における対応策	施設利用者と情報共有を図り、施設の維持管理に努めた。									
	C) 新たな課題等	安土の再整備等、大規模な修繕、補修の時期を迎えつつある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		プール管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	体育施設費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8077		都市公園条例、B&G海洋センター条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、スポーツの場を提供する。									
事業概要		プールの維持管理を実施する。(国分寺B&G海洋センタープール) > プールの運営業務委託を実施する。 > プールの保守点検、修繕等を実施する。 > プールの消耗品費、光熱水費等を支出する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		プール運営管理(消耗品、光熱水費、修繕、医薬材料、保守点検、水質検査等) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため8/2~8/31営業中止	プール運営管理	プール運営管理	プール運営管理	プール運営管理	プール運営管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	4,056	5,378	5,098	4,985	4,985					
	予算現額	5,153	5,504	4,932							
	決算額	4,924	5,209								
財源	国庫支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	172	200	200	200	200					
	一般財源	4,981	5,304	4,732	4,785	4,785					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		プール利用者数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0名	12,000名	862名	1,588名	2,000名					
目標達成率		0%		43.1%	79.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	運営委託業者と情報を共有し、簡易な設備の改修や修繕を実施し利便性の向上に努めた。									
	C) 新たな課題等	シーズンオフの管理方法を検証し、施設の寿命化を図る必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		スポーツ交流館管理事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	体育施設費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 8097		スポーツ交流館条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、スポーツの場を提供する。									
事業概要		スポーツ交流館の維持管理を実施する。 ➤スポーツ交流館の保守点検、修繕等を実施する。 ➤スポーツ交流館の消耗品費、光熱水費等を支出する。 ➤スポーツ交流館の備品の更新を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		スポーツ交流館維持管理 (消耗品、光熱水費、修繕、保守点検、清掃業務等)	スポーツ交流館維持管理 (消耗品、光熱水費、修繕、保守点検、清掃業務等)	スポーツ交流館維持管理	スポーツ交流館維持管理	スポーツ交流館維持管理	スポーツ交流館維持管理				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	1,562	1,556	1,570	1,599	1,599					
	予算現額	1,556	1,570	1,598							
	決算額	1,449	1,454								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	216	192	180	200	200					
	一般財源	1,340	1,378	1,418	1,399	1,399					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		利用者数合計					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		5,936名	11,000名	4,421名	8,787名	10,500名					
目標達成率		56.5%		42.1%	83.7%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	施設の維持管理方法については、毎年検証のうえ見直しを実施し、効率性を高めていく必要がある。									
	B) A)における対応策	点検チェックシートを作成し、日常点検時に活用している。また、要修繕箇所をリスト化し緊急度に応じて対応するよう努めた。									
	C) 新たな課題等	施設の老朽化だけでなく、備品の故障や破損も現れだしているため、計画的な更新の必要性がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		運動場改修事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理グループ	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成28年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業				目		2	体育施設費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		8182		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、利用者に安全で快適なスポーツの場を提供する。									
事業概要		> 別処山運動公園張芝工事 > 南河内テニスコート駐車場拡張工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		別処山公園四阿・外周舗装、大松山運動公園西側境界杭設置、南河内ゲートボール場返還	改修工事等	別処山公園ナイター照明改修工事、大松山運動公園陸上競技場公認認定継続のための修繕工事	別処山運動公園張芝工事、南河内テニスコート駐車場拡張工事	国分寺運動公園テニスコートナイター照明修繕工事、五千石球場パーゴラ修繕工事、国分寺運動公園内ベンチ修繕工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	9,405	50,954	13,982	30,141	33,200					
	予算現額	0	13,982	10,560							
	決算額	2,400	12,642								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	20,000					
	一般財源	0	13,982	10,560	30,141	13,200					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	公園施設長寿命化計画の見直しの時点で、適切に改修等計画に載せられるように準備を進める。									
	B) A)における対応策	公園内の工作物等を正確に把握し管理していくために現況把握と台帳整理を進めている。									
	C) 新たな課題等	老朽化への対応のみならず、社会生活の変化や多様性等から要求性能レベルの向上も求められるようになっていく。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		体育施設改修事業				部名	教育委員会		グループ名	施設管理G	
						課名	スポーツ振興課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	スポーツ活動の支援				項	6	保健体育費	事業終了年度	
	主な事業	スポーツ施設の効率的な管理運営・改修整備					目	2	体育施設費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		8158		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)③						
2. 事業内容											
事業目的		生涯スポーツの推進を図るため、利用者に安全で快適なスポーツの場を提供する。									
事業概要		>旧国分寺西小プール解体工事 >その他体育施設改修工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			体育施設改修工事等	南河内東体育館屋根改修工事等	旧国分寺西小プール解体工事 その他体育施設改修工事	南河内体育センター改築工事实施設計 その他体育施設改修工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	8,626	10,472	19,820	15,004					
	予算現額	0	10,472	44,018							
	決算額	0	11,175								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	9,000	40,500	0	0					
	一般財源	0	1,472	3,518	19,820	15,004					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	長寿命化計画をベースにした施設のあり方検討や計画的な改修等を進める必要がある。									
	B) Aにおける対応策	長寿命化計画に基づき南河内東体育館屋根改修工事の実施設計を行った。									
	C) 新たな課題等	老朽化への対応のみならず、社会生活の変化や多様性等から要求性能レベルの向上も求められるようになってきている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		文化振興事業				部名	教育委員会		グループ名	文化振興グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	豊かな文化を育む活動づくり				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	各種文化団体活動支援					目	2	文化振興費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 7300		第二次下野市総合計画下野市教育大綱下野市教育振興計画			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体	下野市文化協会、しもつけ市				
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(イ)②							
2. 事業内容											
事業目的		<ul style="list-style-type: none"> 市民がさまざまな芸術文化に触れることで、豊かに暮らすための文化振興活動の活性化を図る。 文化団体の自主事業運営の推進を図り、市民の芸術文化活動への参加を促進する。 子どもの豊かな心や感性、創造力やコミュニケーション能力を育み、地域文化の担い手を育成する。 									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな芸術文化活動を愛好し、実践している市民の各種発表及び作品等を展示するため、しもつけ市民芸術文化祭を開催する。 文化団体相互の連絡協調と会員相互の親睦融和を図り、下野市の文化活動の振興及び文化的水準の向上発展を目的とする下野市文化協会の運営を補助し、活動に対し協力する。 次世代を担う児童・生徒に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、市立学校において芸術鑑賞事業を開催する。 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市内小中学校の芸術文化鑑賞事業の実施。	しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市立学校の芸術文化鑑賞事業の実施。	しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市立学校の芸術文化鑑賞事業の実施。	しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市立学校の芸術文化鑑賞事業の実施。	しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市立学校の芸術文化鑑賞事業の実施。	しもつけ市民芸術文化祭の開催、下野市文化協会の支援、市立学校の芸術文化鑑賞事業の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,477	6,171	6,114	6,164	6,194					
	予算現額	6,626	6,114	6,209							
	決算額	6,430	6,018								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	475	0					
	一般財源	6,626	6,114	6,209	5,689	6,194					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化協会の会員数					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		942	1,000人	928	889	1,000人					
目標達成率		94.2%		92.8%	88.9%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新たな発表の場として創設した天平の桜歌会のイベント定着									
	B) Aにおける対応策	新たなイベントとして、市立学校短歌俳句大会を追加した。									
	C) 新たな課題等	天平の桜歌会を継続するための財源									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成30年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		グリムの森・グリムの館管理事業				部名	教育委員会		グループ名	文化振興グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	豊かな文化を育む活動づくり				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	文化振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7323		第二次下野市総合計画下野市教育大綱下野市教育振興計画		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体	一般財団法人グリムの里いしばし				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		<p>・財団の能力を活用しつつ、市民等に対する「グリムの森・グリムの館」の効率及び効果を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図る。また、財団による芸術・文化等の振興及び生涯学習の推進並びに都市の緑化の普及を図る。・指定管理料及び市補助金による限られた予算の中で最大限の効果を出すため、来場者の意見を取り入れながら、事業内容を見直し、改善に努力する。</p>									
事業概要		<p><指定管理事業>・「グリムの森・グリムの館」の利用許可及び維持管理業務を行う。・市民等を対象とした文化公演や展示会等を開催する。 <補助事業>・一般財団法人グリムの里いしばしの運営に関する事。・収益を伴わない公益事業を開催する。</p>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		指定管理者によるグリムの森・館の管理運営	指定管理者によるグリムの森・館の管理運営	指定管理者によるグリムの森・館の管理運営	指定管理者によるグリムの森・館の管理運営	指定管理者によるグリムの森・館の管理運営					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	38,111	31,786	32,786	32,786	32,786					
	予算現額	31,786	32,286	32,286							
	決算額	31,061	31,773								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	31,786	32,286	32,286	32,786	32,786					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		「グリムの館」の利用者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	来園者数				
実績値		15,720人	79,800人	38,033人	151,280人	167,600人					
目標達成率		17.1%		22.7%	90.3%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	森樹木の巨木化・老木化している現状による適正管理									
	B) Aにおける対応策	園内の遊具更新に伴い、数本の樹木を伐採した。									
	C) 新たな課題等	園内の樹木に関する継続的な管理									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		グリムの森施設整備事業				部名	教育委員会		グループ名	文化振興グループ	
						課名	生涯学習文化課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成29年度
	施策	1	豊かな文化を育む活動づくり				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	グリムの森・グリムの館管理					目	2	文化振興費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		12658	第二次下野市総合計画下野市教育大綱下野市教育振興計画	
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		グリムの森・グリムの館は開園後20年以上が経過していることから、改修・設備更新を実施する。グリムの森・グリムの館・お菓子の家の簡易な修繕を継続して行う。									
事業概要		グリムの森・グリムの館・お菓子の家の適正な維持管理運営のため、随時設備更新・修繕工事を実施する。グリムの館について、建築後27年経過していることから、グリムの館改善保全計画に基づき更新・改修工事を実施し長寿命化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。	改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。	改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。	改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。	改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。	改善保全計画に基づく設備更新・修繕工事の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	20,000	0	2,018	2,530	56,946					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	2,530	56,946					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		グリムの館の利用者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	来園者数				
実績値			92,000人	38,033人	151,280人	167,600人					
目標達成率				22.7%	90.3%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	老朽化による建物外壁の改修									
	B) A)における対応策	予算調整により外壁調査を次年度へ見送りとなった。									
	C) 新たな課題等	老朽化による建物外壁の改修									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		文化財保護事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	文化財保護費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		7341	文化財保護法、栃木県文化財保護条例、下野市文化財保護条例	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		市内の国・県・市指定の文化財（106件）や埋蔵文化財（包蔵地500カ所）と共に下野市文化財保存活用地域計画策定過程で確認された今後追加指定の可能性の高い文化財の保存と活用に向けた「東の飛鳥プロジェクト」を推進するため、文化財の追加指定、開発に伴う発掘調査等を実施する。また、それらの成果について、諮問機関である文化財保護審議会に諮りながら計画を策定し、事業の進展を図る。									
事業概要		国・県・市指定文化財及び現状では未指定の文化財の保存・活用に向けた適正な管理、修理、追加指定を市文化財審議会に諮りながら実施。開発行為に伴う包蔵地に関する届出の事務及び現地立会い等の実施。令和2年度に国の認定を受けた『下野市文化財保存活用地域計画』に基づき、市内に所在する文化財の保存・継承を図りながら観光や学校教育・生涯学習に向けた活用を図る。「東の飛鳥プロジェクト」として、文化財を活かしたまちづくり事業を推進する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。	文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。	文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。	文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。	文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。	文化財審議会の開催（年2回）。開発に伴う届出の受理・発掘調査及び発掘整理の実施。史跡の除草清掃管理。文化財保存活用地域計画で定めた事業の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,862	7,800	7,417	6,811	6,811					
	予算現額	8,354	7,417	8,443							
	決算額	7,670	6,413								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	301	301	301	0	0					
	一般財源	8,053	7,116	8,142	6,811	6,811					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	しもつけ風土記の丘資料館入館者目標値（年間18,000人）に対する達成率				
実績値		1,014人(22,817円)			10,927人						
目標達成率		0.06		0.4	0.46						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	下野市文化財保存活用地域計画に基づき、市内に所在する数多くの文化財の保存・継承を図るとともに、観光や学校教育・生涯学習の資源として活用する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	市内には多くの文化財があることから、下野市文化財保存活用地域計画に基づき、保存活用における緊急性が高い文化財の調査等を優先的に行う。									
	C) 新たな課題等	史跡等の維持管理費が毎年上がっており、シルバー委託などで経費を節減しても予算が確保できなければ保存活用にも影響がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		デジタルミュージアム運営事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成23年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	文化財保護費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7384		文化財保護法、栃木県文化財保護条例、下野市文化財保護条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		市内の国・県・市指定の文化財や埋蔵文化財等を保存・活用し、歴史を活かしたまちづくり事業「東の飛鳥プロジェクト」を推進するため、下野市文化財バーチャルミュージアムを運営し、市の歴史文化の情報発信・PRを行う。 また、郷土の歴史や文化に対する子どもたちの理解を深めるため、キッズ向けページによる情報発信の充実を図る。									
事業概要		平成23年度に作成した下野市文化財バーチャルミュージアムの運営。コンテンツの追加や作成を随時行う。 下野薬師寺歴史館及びしもつけ風土記の丘資料館の情報の充実を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		データの更新・追加、維持管理	データの更新・追加、維持管理・バーチャルミュージアムのスマートフォン対応への更新・新規コンテンツの追加	データの更新・追加、維持管理・デジタルアーカイブの追加・文化財CGの動画作成	データの更新・追加、維持管理・デジタルアーカイブの追加・文化財CGの動画作成	データの更新・追加、維持管理・デジタルアーカイブの追加・文化財CGの動画作成	データの更新・追加、維持管理・デジタルアーカイブの追加・文化財CGの動画作成				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	345	345	345	345	345					
	予算現額	345	345	345							
	決算額	345	345								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	345	345	345	345	345					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化財の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	しもつけ風土記の丘資料館入館者目標値(年間23,500人)に対する達成率				
実績値		1,084人(R2.8.17から閉館)			10,927人						
目標達成率		6.0%		40.2%	46.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	下野薬師寺歴史館及びしもつけ風土記の丘資料館の情報の充実。									
	B) Aにおける対応策	イベント開催ごとに下野市文化財バーチャルミュージアムにて情報を掲載している。									
	C) 新たな課題等	下野市文化財バーチャルミュージアムの認知度を向上させる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野薬師寺跡保存事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	文化財保護費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7395		文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		大正10年に国の史跡に指定された下野薬師寺跡の保存整備を図るために策定した「下野薬師寺跡保存管理計画書」に基づき、史跡地の公有化・発掘調査を行い、史跡整備・管理事業を推進する。また、必要に応じて指定地の追加指定を実施する。									
事業概要		H13年度に第1期整備工事(寺院地南西部・西回廊周辺)、H30年度に第2期整備工事(再建塔周辺)が完了したことから、令和2年度に第3期整備基本計画を策定した。今後は基本計画に基づいて金堂及び東金堂・講堂等の保存整備工事を実施する。また、供用開始から20年が経過した第1期整備地区の改修計画、指定範囲の拡大など、今後の保存整備に関する方針についても決定する。 文化庁・県教育委員会・史跡整備委員会の指導に基づき、史跡の保存・整備・管理活用に向けた方針等の検討を行う。 史跡整備のための発掘調査及び報告書の作成を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。	下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。	下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。	下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。	下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。	下野薬師寺跡保存整備委員会の開催(年1回)。発掘調査報告書の作成。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	295	292	292	292	292					
	予算現額	292	292	292							
	決算額	0	162								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	292	292	292	292	292					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	下野薬師寺歴史館入館者数の増加				
実績値		4,138人	8,750人	3700	5773	9,000人					
目標達成率		0.47		0.41	0.64						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	発掘調査によって、史跡の範囲が東に広がることが明らかになった。									
	B) Aにおける対応策	周辺地域の発掘調査を行い、追加指定範囲の確認を行う。									
	C) 新たな課題等	追加指定範囲の確認と併せて史跡の保存管理計画の見直しが必要となる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野薬師寺跡整備事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成22年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	文化財保護費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 7414		文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類		ハード事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		大正10年に国の史跡に指定された下野薬師寺跡の保存整備を図るために策定した「下野薬師寺跡保存管理計画書」に基づき、史跡の整備事業を推進する。									
事業概要		H13年度に第1期整備工事(寺院地南西部・西回廊周辺)、H30年度に第2期整備工事(再建塔周辺)が完了した。令和2年度に策定した第3期整備基本計画に基づき、金堂及び東金堂・講堂等の保存整備工事を実施する。また、供用開始から20年が経過した第1期整備地区の補修や史跡指定範囲内での公有化を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		第3期保存整備基本設計の内容検討	第3期保存整備基本設計の実施。整備報告書作成。指定地の公有化の実施。	第3期保存整備実施設計の実施。指定地の公有化の実施。	第3期保存整備工事の実施。指定地の公有化の実施。第2期整備報告書作成。	第3期保存整備工事の実施。指定地の公有化の実施。第2期整備報告書作成。					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,000	12,583	35,200	140,510	36,300					
	予算現額	0	12,584	28,575							
	決算額	0	8,998								
財源	国県支出金	0	5,040	20,292	98,540	18,150					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	7,544	8,283	41,970	18,150					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	下野薬師寺歴史館入館者数令和7年度目標値に対する割合				
実績値		4,138人	8,750人	3,700人	5,773人(4~5月改修工事で閉館)	9,000人					
目標達成率		0.47		41.1%	64.1%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	資材不足による物価の上昇によって、工事価格の高騰が懸念される。									
	B) Aにおける対応策	基本設計において整備工事の内容を検討し、工事費の抑制に努めた。									
	C) 新たな課題等	薬師寺地区街なみ環境整備事業の実施に伴い、史跡南東部の追加指定等の検討が必要となり、今後調整が必要。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野国分寺跡保存事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		3	文化財保護費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7421		文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例 指定文化財管理費国庫補助取扱要領		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		大正10年に国の史跡に指定された下野国分寺跡の保存活用を図るため、平成25年度に平地林をを活かした第1次史跡整備を実施し、見学者への案内・解説や体験学習等に活用している。全国の国分寺の中でも主要建物跡が整備された貴重な国分寺であり、県内外からの見学者も多いことから、下野国分寺跡を適切に保存・活用を行うことを目的として事業を実施する。									
事業概要		国有地を含めた国史跡指定地の管理、史跡整備に伴う発掘調査の報告書の作成を行うとともに、令和3年5月2日にリニューアルしたしもつけ風土記の丘資料館と併せた見学の対応を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。報告書作成に伴う図版作成業務。	史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。報告書作成に伴う図版作成業務。整備報告書作成。	史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。報告書作成に伴う図版作成業務。整備報告書作成。	史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。報告書作成に伴う図版作成業務。整備報告書作成。	史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。報告書作成に伴う図版作成業務。整備報告書作成。	史跡地の管理。団体による史跡地の除草・清掃。発掘調査報告書作成。整備報告書作成。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	2,129	8,245	9,082	9,384	9,384					
	予算現額	8,245	9,082	9,186							
	決算額	7,950	9,018								
財源	国県支出金	521	204	204	204	204					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	7,724	8,878	8,982	9,180	9,180					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	令和7年度風土記の丘資料館入館者目標値(23,500人)に対する達成率				
実績値		1,084人(令和2年8月17日から休館)			10,927人						
目標達成率		0.06		40.2%	46.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	史跡地の除草・倒木等の管理費の増加。									
	B) Aにおける対応策	管理する植栽等の数量を把握するため、枯木等の確認を行った。									
	C) 新たな課題等	新たな害虫や病気等への対策が必要となっている。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A					必要性	A				
有効性	A					有効性	A				
効率性	A					効率性	A				
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野国分尼寺跡保存事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成30年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	文化財保護費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 9945		文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		昭和40年に国の史跡として指定された下野国分尼寺跡はこれまでに2期にわたる整備事業が実施され、史跡公園として活用されている。この尼寺跡を適切に保存活用するために管理及び活用を行うとともに、今後の史跡の保存活用の方針等を示すため、下野国分尼寺跡保存活用計画の策定に向けた検討を行う。									
事業概要		史跡の適切な保存のために管理を行うほか、しもつけ風土記の丘資料館と合わせた見学等の活用を行う。また、今後の史跡の適切な保存活用を行うため、保存活用計画策定に向けた検討を行う。									
事業計画(基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		保存活用計画策定に向けた検討。史跡整備事業報告書の作成。樹木等管理業務の実施。	保存活用計画策定に向けた検討。樹木等管理業務の実施。	保存活用計画策定に向けた検討。樹木等管理業務の実施。	保存活用計画策定に向けた検討。樹木等管理業務の実施。	保存活用計画策定に向けた検討。樹木等管理業務の実施。	保存活用計画策定に向けた検討。樹木等管理業務の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	16,597	14,333	14,971	14,971					
	予算現額	16,597	14,333	14,971							
	決算額	15,942	14,313								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	16,597	14,333	14,971	14,971	14,971					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化財の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	令和7度風土記の丘資料館入館者目標値(23,500人)に対する達成率				
実績値		1,084人			10,927人						
目標達成率		0.06		40.2%	46.5%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	史跡地内に植栽されている桜から有害な菌が見つかり防除のため消毒回数を増やす必要がある。そのために管理費用の増加が見込まれる。									
	B) Aにおける対応策	桜の消毒回数を増としたが、他の樹木の防除の回数を見直し最小限の増額とした。									
	C) 新たな課題等	史跡指定地内に耕作放棄地がみられることから、適切な管理を行うため、保存活用計画の策定の検討を行う必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市内遺跡発掘調査事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	文化財保護費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7475		文化財保護法、栃木県文化財保護条例、市文化財保護法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		市内に所在する国・県・市指定史跡等に隣接する未指定の遺跡についても発掘調査を行い保護活用を図るための発掘調査等を実施する。史跡指定の必要に応じて諸手続きを進め、指定史跡として保護を図る。									
事業概要		発掘調査：R3年～R7年度 史跡下野薬師寺跡の追加指定範囲確認調査の実施。 R3年～R8年度 三王山南塚古墳群の発掘調査。(国指定に向けた取り組み) 整理作業：落内遺跡等の整理作業及び報告書の作成。 保存修理：H30年～R8年度 重要文化財甲塚古墳出土遺物(埴輪・土器)の保存修理の実施。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		甲塚古墳出土遺物保存修理業務。 下野薬師寺跡周辺の発掘調査	甲塚古墳出土遺物保存修理業務。 下野薬師寺跡周辺及び三王山南塚古墳群の発掘調査。	甲塚古墳出土遺物保存修理業務。 下野薬師寺跡周辺及び三王山南塚古墳群の発掘調査。	甲塚古墳出土遺物保存修理業務。 下野薬師寺跡周辺及び三王山南塚古墳群の発掘調査。	下野薬師寺跡周辺及び三王山南塚古墳群の発掘調査。 試掘調査の実施。	下野薬師寺跡周辺及び三王山南塚古墳群の発掘調査。 試掘調査の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	8,952	9,863	8,076	7,695	7,695					
	予算現額	8,717	8,423	7,982							
	決算額	6,873	8,048								
財源	国県支出金	2,724	2,631	2,828	3,547	3,547					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	5,993	5,792	5,154	4,148	4,148					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		資料館の入館者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	現状の年間入館者数27,000人の30%増				
実績値		5,222人	27,000人	13,146人	16,700人	32,500人					
目標達成率		19.3%		40.4%	51.3%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	発掘調査現場における作業員の不足により適切な期間で調査を終了することが困難となりつつある。									
	B) A)における対応策	デジタル測定の導入など、調査の効率化によって調査の期間の短縮を図る。									
	C) 新たな課題等	太陽光発電施設の設置など民間開発での試掘調査が増加傾向にある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野薬師寺歴史館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成18年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業						目	4	資料館費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7499		文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)②						
2. 事業内容											
事業目的		史跡下野薬師寺跡の保存活用のため、史跡公園を一般公開するとともに、下野薬師寺跡のガイドンス施設である歴史館の管理運営の充実に努め、普及啓発と情報発信を促進する。									
事業概要		史跡まっりの開催。 下野薬師寺ボランティアの支援。 南河内小中学校とのふるさと学習の実施。 各種文化財関連講座の開催（こども歴史講座等）。 AR（拡張現実）・VR（仮想現実）を活用したアプリによる史跡地の解説、案内。 団体や学校の歴史学習等の受け入れを積極的に進める。また、ボランティアとの連携により、施設の活性化を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		文化財関連体験講座の開催。小学校との連携事業の実施。	文化財関連体験講座の開催。義務教育学校との連携事業の実施。	文化財関連体験講座の開催。義務教育学校との連携事業の実施。	文化財関連体験講座の開催。義務教育学校との連携事業の実施。	文化財関連体験講座の開催。義務教育学校との連携事業の実施。	文化財関連体験講座の開催。義務教育学校との連携事業の実施。				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	10,078	22,799	19,678	22,035	22,035					
	予算現額	20,108	19,678	21,090							
	決算額	21,576	19,088								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	129	1	1	0	0					
	一般財源	19,979	19,677	21,089	22,035	22,035					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	下野薬師寺歴史館入館者数の増加				
実績値		4,138人	8,750人		5,773人	9,000人					
目標達成率		0.47		0.41	0.64						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、見学者への対応方法や体験講座等の検討が必要。									
	B) Aにおける対応策	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、入館制限は緩和している。手指消毒や体温計測は任意で継続している。									
	C) 新たな課題等	史跡保護のため公有化を進めていることから、下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場及び公有地の維持管理費が増加している。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		しもつけ風土記の丘資料館管理運営事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成27年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業				目		4	資料館費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 7551		文化財保護法 博物館法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(イ)④						
2. 事業内容											
事業目的		「下野市歴史的風致維持向上計画」及び「下野市文化財保存活用地域計画」を推進するため、文化財の情報発信施設としての活用を図る。また、観光部局とも連携を図り、本市の歴史文化や魅力を市内外へ発信する。									
事業概要		発掘調査等で収蔵した資料の活用を図るため、わかりやすい展示及び各種イベント・講座等の学習機会の提供、市内外に向けた情報の発信を行う。また、「東の飛鳥」プロジェクトを推進するためのPRを行っていく。今後は博物館法に基づく登録博物館への登録を検討する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		歴史講座・体験講座開催。他市町との連携講座を開催。ミニ企画展の開催。登録博物館として登録。		歴史講座・体験講座開催。他市町との連携講座を開催。ミニ企画展の開催		歴史講座・体験講座開催。他市町との連携講座を開催。ミニ企画展の開催		歴史講座・体験講座開催。他市町との連携講座を開催。ミニ企画展の開催		歴史講座・体験講座開催。他市町との連携講座を開催。ミニ企画展の開催	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	11,464	13,082	16,816	16,116	16,116					
	予算現額	14,309	15,655	16,954							
	決算額	13,606	13,906								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	14,309	15,655	16,954	16,116	16,116					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	令和2年度風土記の丘資料館入館者目標値(18,000人)に対し3割の増加				
実績値		1,084人		9,446人	10,927人						
目標達成率				0.4	0.47						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	団体での見学等では新型コロナウイルス感染症対策を十分に行うことが難しい。									
	B) Aにおける対応策	コロナウイルス感染症対策の5類感染症移行に伴い、基本的な感染対策を行ったうえ、団体での見学の受け入れを再開した。									
	C) 新たな課題等	資料館正面園路の劣化により車椅子等の通行に支障がでる恐れがあるため、舗装の修繕が今後必要となる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		東の飛鳥プロジェクト推進事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	平成29年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	
	主な事業	「東の飛鳥プロジェクト」による文化財の総合的な活用					目	3	文化財保護費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費		12425	文化財保護法 栃木県文化財保護条例 市文化財保護条例		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	Ⅲ			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	①	「魅力的							
2. 事業内容											
事業目的		本市は、東国における飛鳥時代の変遷を表す遺跡が集中するという歴史的特性を有している。このことから本市を「東の飛鳥」と称し、「東の飛鳥」ブランドを活用した文化財啓発普及事業を展開する。関連する古代の史跡や遺跡から出土した資料等のほか、民俗文化財や歴史資料、古文書などの史料の調査研究を実施する。また、その成果を基に市民に分かりやすく市の歴史・文化財について啓発普及活動を行い、市民の郷土愛の醸成とともに、市内外へPRすることによって文化財を活用した観光振興に努める。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 「東の飛鳥」ブランドのPR事業（イベント・講演会等）、関連グッズの作成 市内に所在する古文書及び民具等の調査収集の推進。かんびょう生産道具の登録有形民俗文化財への登録推進、市内文化財のデジタルアーカイブスの整理 市内小中学校、公民館等への歴史、文化財に関する学習機会の提供 文化財ガイドアプリ（ストリートミュージアム等）の運営 									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		「東の飛鳥」PR事業の実施 文化財CGアプリの普及活動 かんびょう生産道具報告書作成・登録有形民俗文化財への登録推進	「東の飛鳥」PR事業の実施 地域再生マネージャー事業の実施 かんびょう生産道具報告書作成・登録有形民俗文化財への登録推進	「東の飛鳥」PR事業の実施 地域再生マネージャー事業の実施 かんびょう生産道具報告書作成・登録有形民俗文化財への登録推進	「東の飛鳥」PR事業の実施 かんびょう生産道具報告書作成・登録有形民俗文化財への登録推進	「東の飛鳥」PR事業の実施 かんびょう生産道具報告書作成・登録有形民俗文化財への登録推進					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	4,061	9,630	11,337	8,211	8,211					
	予算現額	13,905	13,441	12,150							
	決算額	13,228	12,263								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	7,085	4,146	4,451	0	0					
	一般財源	6,820	9,295	7,699	8,211	8,211					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		文化遺産の保存と活用					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	令和2年度しもつけ風土記の丘資料館入館者目標値(18,000人)に対する達成率				
実績値					10,927人						
目標達成率		0.06		0.52	0.61						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	アフターコロナに向けた文化財活用によるまちづくり事業の実施									
	B) Aにおける対応策	東の飛鳥をPRするためのイベント等を開催し、併せて下野市を分かりやすくPRするための「1500年前からシモツケ ぐらし ウツツケ」というキャッチコピーを作成した。									
	C) 新たな課題等	キャッチコピーの浸透を効果的に図るためのシステムを構築する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和5年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		東の飛鳥プロジェクト整備事業				部名	教育委員会		グループ名	文化財グループ	
						課名	文化財課				
総合計画	施策大綱(目標)	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	4	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり				款	10	教育費	事業開始年度	令和4年度
	施策	2	文化財の保存と活用				項	5	社会教育費	事業終了年度	令和8年度
	主な事業	「東の飛鳥プロジェクト」による文化財の総合的な活用					目	3	文化財保護費	関係法令等	
重点事業区分	1 人いきいきプロジェクト				経費区分	投資的経費		18375	文化財保護法、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、下野市歴史的風致維持向上計画		
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	④	(イ)④							
2. 事業内容											
事業目的		本市は、東国における飛鳥時代の変遷を示す遺跡が集中するという歴史的特性を有している。このことから本市では「東の飛鳥」ブランドを活用した文化財の活用を進めている。この「東の飛鳥」プロジェクトの推進の一環として、「下野市歴史的風致維持向上計画」に位置付けられている「下野薬師寺いにしへの道整備事業」の実施と合わせ、各種事業を進めることにより、文化財の市内外へのPRを行い、文化財を活用した観光振興に努める。									
事業概要		「下野薬師寺いにしへの道整備事業」として御鷺山古墳(未指定)の整備、トイレや四阿の設置、下野薬師寺歴史館の駐車場整備等を実施する。事業の実施に当たっては町なみ環境整備事業を活用する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			整備基本方針・計画策定	用地買収(御鷺山古墳)	発掘調査(御鷺山古墳)用地買収(トイレ・四阿)歴史館駐車場整備工事実施設計	御鷺山古墳整備工事実施設計 トイレ・四阿等実施設計 歴史館駐車場整備工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	11,000	39,340	32,408	35,298					
	予算現額	0	9,891	12,096							
	決算額	0	9,790								
財源	国県支出金	0	4,900	6,048	16,150	17,600					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	4,991	6,048	16,258	17,698					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		下野薬師寺歴史館入館者数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	過去の年間平均入館者数約7,000人に対し3割の増加(9,100人)				
実績値					5,773人	9,100人					
目標達成率					63.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	国の指定史跡である下野薬師寺跡の追加指定と本事業の調整が必要。									
	B) A)における対応策	市道の付け替えを含め建設課との協議を実施したほか、追加指定については文化庁に確認を行った。									
	C) 新たな課題等	国の史跡としての整備事業と街なみ環境整備事業として実施する範囲の確定が必要。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和3年度						
備考											